

第七十九回  
貴族院

戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案(追加)

裁判所構成法戰時特例案(政)

昭和十七年一月二十六日(月曜日)午前十時十四分開會

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今ヨリ委員

會ヲ開會致シマス、先づ不動産登記法中改正法律案、之ニ付キマシテ御質疑ガアリマスレバ御願ヒ致シマス

○岩田宙造君 先日チヨット伺ッタコトニ關聯シテ居ルノデアリマスガ、十一條デ登記所ガ家屋臺帳所管廳ニ通知スル場合ノ規定ガ設ケテアリマスガ、其ノ場合ニ、建物ガ滅失シテ其ノ登記ヲ抹消シタ場合ニハ通知ヲスル必要ガナイト云フ御説明ノ理由ト致シマシテ、其ノ場合ニハ滅失シタコトハ先づ家屋臺帳所管廳ニ届出テ、サウシテ其ノ滅失ノ證明書ヲ家屋臺帳所管廳カラ取ツテ來テ、サウシテ滅失ノ登記ヲスルノデアルカラ、其ノ時ハ家屋臺帳所管廳ハ既ニ滅失ノ事實ヲ知ツテ居ルノダカラ、登記所カラ通知ヲスル必要ハナイノダト、斯ウ云フ御説明ニ同ツタノデアリマスガ、其ノ滅失ノ登記ヲスル時ニ、家屋臺帳所管廳ノ證明書ヲ添附シテ申請シナケレバナラスト云フ規定ハ何ニ設ケラレルト云フノデアリマシタカ、ソレヲモウ一度伺ヒタインデアリマス

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ九十二條デヤルノデアリマシテ、改正ノ九十二條ニ依リマスト、「滅失、増減若クハ新築シタル建坪竝ニ現在ノ建坪ヲ記載シ」ト斯ウアリマシテ、此ノ申請ヲ致シマス時ニ、今度

出來マスノハ「建物ノ番號ノ變更」、其ノ後ノ方ニ「家屋臺帳本ヲ添附シ」、斯ウ云フ風ニアリマス、茲ニ家屋臺帳ヲ添附致シマスノデ、滅失シタト云フ家屋臺帳本ヲ添附シテ申請スル、斯様ナコトニ致シテ居リ

○岩田宙造君 其ノ點ハ了解致シマシタガ、サウ云フ理由デ此ノ滅失ノ場合ハ通知ヲ要シナイト云フコトデゴザイマスルト云フト、此ノ所有權保存ノ場合デゴザイマスネ、所

有權ノ保存登記ヲスル場合ニハ、此ノ法案ノ百六條デ矢張り家屋臺帳ノ謄本デ證明ヲシテ、サウシテ登記ヲスルコトニナッテ居リ

○山川端夫君 イツデモ宜シウゴザイマスガ、民法中改正法律案ニ付テ一二點御尋ネシタイコトガアリマスガ、今デナクテモ宜シウゴザイマス、イツデモ構ヒマセヌ

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今ドウゾ御質疑ヲ御始メ下サイマシ

○山川端夫君 戸籍簿ノ改正デ前回戸籍簿ノ訂正等ニ付テ御質問致シマシタノデスガ、其ノ趣意ハ、戸籍簿ニ誤リガアツテモ裁判所ニ行ケバ是ハハッキリ分ルコトデアリマスカラ、何モ問題ハナイノデアリマスガ、併シ一般ノ者ハドウモ戸籍簿ニ誤リガアツタリ致シマスト、ソレヲ基ニシテ、或ハソレヲ誤解シテ色々ナ相續ト云フヤウナコトニ紛糾フ起スト云フコトガアルヤウナ危険モアリマスカラ、此ノ點其ノ前ノ私生子ノ問題ノ訂正モ、此ノ前ノ御答辯デハ機會アル毎ニ訂正スルト云フコトデアリマスケレドモ、出來得レバ斯ウ云フノハ全般的ニ此ノ法律ノ改正ト同時ニ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマスケレドモ、是ハ大變實行困難デアリマスカラ、其ノ點ハ姑ク措キマシテ、少クトモ謄本、抄本ヲ作ルト云フヤウナ機會、其ノ他適當ナ機會ニハ必ズ之ヲ職權ヲ以テ訂正スルヤウニ司法省ノ方カラ戸籍ノ方ニ御訓令アルコトガ出來ルカドウカ、サウ云フ御考ガアルカドウカト云フコトヲ先づ伺

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ御尋ノ點モ考ヘマシテ、サウ云フ場合ニハ省令ニ速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(坂野千里君) 只今岩田委員カ

テ……

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ九十二條デヤルノデアリマシテ、改正ノ九十二條ニ依リマスト、「滅失、増減若クハ新築シタル建坪竝ニ現在ノ建坪ヲ記載シ」ト斯ウアリマシテ、此ノ申請ヲ致シマス時ニ、今度

シタ場合ニハ、家屋臺帳所管廳ニ其ノ旨ヲ

御尋ネニナリマシタ點ハ施行細則ニ規定

○政府委員(坂野千里君) 速記ヲ始メテ……

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(坂野千里君) 速記ヲ始メテ……

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(坂野千里君) 速記ヲ始メテ……

通知スルコトニ規定致スコトニ致シマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 不動産登記法中改正法律案ニ付テ他ニ御質問ゴザイマセスカ

○山川端夫君 モウ一點ハ、戸籍ノ訂正ガ大體今ノヤウナ場合デモドウカシマスト戸籍吏ノ方ニ誤リガナイトモ限ラナイノデアリマス、先程モ申シマシタヤウナ關係モアリマスカラ、是ハ戸籍簿ノ取扱ニ付テハ、嚴重ニ御訓令ガアルトハ存ジマスケレドモ、特ニ今回ノヤウニ特別ノ訂正ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、總テ誤リガナイヤウニ更ニ司法省カラ御訓令ガ願ヒタイト思フノデアリマス、戸籍ノ方デ誤記シテモ一般ノモリマスカラ、ナカ是ハ面倒ナモノデアリマスカラ、誤リナケレバ訂正出來ナイト云フヤウナ、ナカ是ハ面倒ナモノデアリマスカラ、誤リガナイヤウニ特ニ注意スルト云フヤウナ御訓令ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、ソレニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(大森洪太君) 全ク御指摘ノ通

リニ取計ラヒタイト存ジテ居ルノデアリマス、全國多數ニ瓦ル戸籍吏デアリマスカラ、相當ノ誤リモ實ハアルノデアリマシテ、常ニ恐縮ニ存ジテ居ルノデアリマス、左様ナ場合ハ其ノ都度嚴戒ヲ加ヘテ居リマスケレドモ、斯様ナ改正ガアリマシタ際、之ヲ機会ニシテ一般的ニ強キ訓戒ヲ與ヘタイト思

○山川端夫君 私満足致シマシタ

ノ方ニ「家屋臺帳本ヲ添附シ」、斯ウ云フ風ニアリマス、茲ニ家屋臺帳ヲ添附致シマスノデ、滅失シタト云フ家屋臺帳本ヲ添附シテ居リ

○山川端夫君 イツデモ宜シウゴザイマスガ、民法中改正法律案ニ付テ一二點御尋ネシタイコトガアリマスガ、今デナクテモ宜シウゴザイマス、イツデモ構ヒマセヌ

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今ドウゾ御質疑ヲ御始メ下サイマシ

○山川端夫君 戸籍簿ノ改正デ前回戸籍簿ノ訂正等ニ付テ御質問致シマシタノデスガ、其ノ趣意ハ、戸籍簿ニ誤リガアツテモ裁判所ニ行ケバ是ハハッキリ分ルコトデアリマスカラ、何モ問題ハナイノデアリマスガ、併シ一般ノ者ハドウモ戸籍簿ニ誤リガアツタリ致シマスト、ソレヲ基ニシテ、或ハソレヲ誤解シテ色々ナ相續ト云フヤウナコトニ紛糾フ起スト云フコトガアルヤウナ危険モアリマスカラ、此ノ點其ノ前ノ私生子ノ問題ノ訂正モ、此ノ前ノ御答辯デハ機會アル毎ニ訂正スルト云フコトデアリマスケレドモ、出來得レバ斯ウ云フノハ全般的ニ此ノ法律ノ改正ト同時ニ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマスケレドモ、是ハ大變實行困難デアリマスカラ、其ノ點ハ姑ク措キマシテ、少クトモ謄本、抄本ヲ作ルト云フヤウナ機會、其ノ他適當ナ機會ニハ必ズ之ヲ職權ヲ以テ訂正スルヤウニ司法省ノ方カラ戸籍ノ方ニ御訓令アルコトガ出來ルカドウカ、サウ云フ御考ガアルカドウカト云フコトヲ先づ伺

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ御尋ノ點モ考ヘマシテ、サウ云フ場合ニハ省令ニ速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ止メテ……

○政府委員(坂野千里君) 只今岩田委員カ

テ……

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ九十二條デヤルノデアリマシテ、改正ノ九十二條ニ依リマスト、「滅失、増減若クハ新築シタル建坪竝ニ現在ノ建坪ヲ記載シ」ト斯ウアリマシテ、此ノ申請ヲ致シマス時ニ、今度

シタ場合ニハ、家屋臺帳所管廳ニ其ノ旨ヲ

御尋ネニナリマシタ點ハ施行細則ニ規定

○政府委員(坂野千里君) 速記ヲ始メテ……

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(坂野千里君) 速記ヲ始メテ……

ヒタ

○政府委員(大森洪太君) 御越旨ノヤウニ訓令ヲ發シマンテ取扱ヲ一定スル用意ヲ致シテ居リマス、左様御了承願ヒマス

○山川端夫君 モウ一點ハ、戸籍ノ訂正ガ大體今ノヤウナ場合デモドウカシマスト戸籍吏ノ方ニ誤リガナイトモ限ラナイノデアリマス、先程モ申シマシタヤウナ關係モアリマスカラ、是ハ戸籍簿ノ取扱ニ付テハ、嚴重ニ御訓令ガアルトハ存ジマスケレドモ、特ニ今回ノヤウニ特別ノ訂正ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、總テ誤リガナイヤウニ更ニ司法省カラ御訓令ガ願ヒタイト思フノデアリマス、戸籍ノ方デ誤記シテモ一般ノモリマスカラ、ナカ是ハ面倒ナモノデアリマスカラ、誤リナケレバ訂正出來ナイト云フヤウナ、ナカ是ハ面倒ナモノデアリマスカラ、誤リガナイヤウニ特ニ注意スルト云フヤウナ御訓令ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、ソレニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○山川端夫君 全ク御指摘ノ通

リニ取計ラヒタイト存ジテ居ルノデアリマス、全國多數ニ瓦ル戸籍吏デアリマスカラ、相當ノ誤リモ實ハアルノデアリマシテ、常ニ恐縮ニ存ジテ居ルノデアリマス、左様ナ場合ハ其ノ都度嚴戒ヲ加ヘテ居リマスケレドモ、斯様ナ改正ガアリマシタ際、之ヲ機会ニシテ一般的ニ強キ訓戒ヲ與ヘタイト思

○山川端夫君 私満足致シマシタ

ノ方ニ「家屋臺帳本ヲ添附シ」、斯ウ云フ風ニアリマス、茲ニ家屋臺帳ヲ添附致シマススノデ、滅失シタト云フ家屋臺帳本ヲ添附シテ居リ

○山川端夫君 イツデモ宜シウゴザイマスガ、民法中改正法律案ニ付テ一二點御尋ネシタイコトガアリマスガ、今デナクテモ宜シウゴザイマス、イツデモ構ヒマセヌ

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 只今ドウゾ御質疑ヲ御始メ下サイマシ

○山川端夫君 戸籍簿ノ改正デ前回戸籍簿ノ訂正等ニ付テ御質問致シマシタノデスガ、其ノ趣意ハ、戸籍簿ニ誤リガアツテモ裁判所ニ行ケバ是ハハッキリ分ルコトデアリマスカラ、何モ問題ハナイノデアリマスガ、併シ一般ノ者ハドウモ戸籍簿ニ誤リガアツタリ致シマスト、ソレヲ基ニシテ、或ハソレヲ誤解シテ色々ナ相續ト云フヤウナコトニ紛糾フ起スト云フコトガアルヤウナ危険モアリマスカラ、此ノ點其ノ前ノ私生子ノ問題ノ訂正モ、此ノ前ノ御答辯デハ機會アル毎ニ訂正スルト云フコトデアリマスケレドモ、出來得レバ斯ウ云フノハ全般的ニ此ノ法律ノ改正ト同時ニ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマスケレドモ、是ハ大變實行困難デアリマスカラ、其ノ點ハ姑ク措キマシテ、少クトモ謄本、抄本ヲ作ルト云フヤウナ機會、其ノ他適當ナ機會ニハ必ズ之ヲ職權ヲ以テ訂正スルヤウニ司法省ノ方カラ戸籍ノ方ニ御訓令アルコトガ出來ルカドウカ、サウ云フ御考ガアルカドウカト云フコトヲ先づ伺

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ御尋ノ點モ考ヘマシテ、サウ云フ場合ニハ省令ニ速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ止メテ……

○政府委員(坂野千里君) 只今岩田委員カ

テ……

○政府委員(坂野千里君) 其ノ點ハ九十二條デヤルノデアリマシテ、改正ノ九十二條ニ依リマスト、「滅失、増減若クハ新築シタル建坪竝ニ現在ノ建坪ヲ記載シ」ト斯ウアリマシテ、此ノ申請ヲ致シマス時ニ、今度

シタ場合ニハ、家屋臺帳所管廳ニ其ノ旨ヲ

御尋ネニナリマシタ點ハ施行細則ニ規定

○政府委員(坂野千里君) 速記ヲ始メテ……

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(坂野千里君) 速記ヲ始メテ……

特別法案ニ付キマシテ政府委員ノ御説明ヲ承リタイト思ヒマス  
 ○政府委員(大森法太君) 司法大臣ハ只今本會議ニ列席致シテ居リマスルカラ、御許ヲ受ケマシテ僭越ナガラ私カラ適當當ナ御説明ヲ申上  
 ルコトガ殆ド不可能ニナツテ參リマシタカラ、戰時中ニ限り裁判所ハ官報ダケニ公告ヲスルト云フコトニシタイト存ズルノデア  
 今議題ニナリマシタ戦時民事特別法案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ補足シテ御説明申上  
 ゲマス、此ノ法案ハ戰時ニ於ケル民事關係ノ紛爭ノ處理ニ資セムトスルモノデアリマス、實ニ複雜多岐ニ至リマシテ、實ハ如何ナル  
 規定ヲ致シマシテモ、其ノ全部ヲ蔽フコトハ殆ド不可能ニ近イト申シテモ過言デハナイト者ハラレマスルカラ、寧口條理ニ依ル互讓妥協ヲ基調ト致シマスル調停制度ヲ擴張致シマシテ、戰時下隣保相助ノ精神ノ下ニ圓滿ニ各個ノ事案ヲ敏速妥當ニ解決スル方ガ適當デアルト存ジマシテ、大體其ノ方針ニ則リマシテ、之ニ加ヘテ民事實體法及手續法ニ臨時應急ノ若干ノ特例ヲ設ケヨウトスルモノデアリマス、先づ第一章ノ通則デアルマスルガ、是ハ實體法、手續法ニ共通スルモノデアリマシテ、本法案ガ戰時ニ限リ民事關係ニ付キ特例ヲ設クルノ趣旨ヲ明カニ致シマスルガ、是ハ實體法、手續法ニ共通スル事項ハ甚ダ多く、其ノ量モ極メテ澤山ニナシテ居リマス、處ガ斯様ナ狀態下デアリマスルカラ、新聞紙ニ公告掲載ノ紙面ヲ得

ルコトガ殆ド不可能ニナツテ參リマシタカラ、戰時中ニ限り裁判所ハ官報ダケニ公告ヲスルト云フコトニシタイト存ズルノデアリマス、第二章ハ民事訴訟ニ關スル特例デアリマシテ、其ノ一ハ、銃後國民ノ戰時下地ニ於テ裁判ヲ爲シ得ル爲ニ土地ノ管轄ニ關スル規定ヲ緩和致シマシテ、又證人、鑑定人ヲシテ裁判所ニ出頭セシムルコトナクト  
 行ヲ圖リマスル爲ニ裁判所ハ攻擊又ハ防禦ノ方法ヲ提出スベキ期間ヲ定メ得ルモノト致シマシテ、其ノ期間内ニ提出シナカツタモノハ裁判所ノ許可ノアツカ場合ダケニ主張ガ出来ルヲ爲シ得ルノ途ヲ開カウト致シマシテ、書類等、簡單ナ方法デ以テ期日ノ呼出しシヤ葉書等、  
 案行ノ期日ノ途ヲ開カウト致シマス、第三  
 ヤ書類等、簡單ナ方法デ以テ期日ノ呼出しシヤ葉書等、  
 ハ訴訟書類ニハ機密ニ至ル事項モ現レテ參ルコトガアリマスルカラ、防諜、其ノ他公  
 リマス、第四章ニハ調停ニ關スル規定ヲ掲  
 ベク破産手續ニ依ラナイデ解決ガ出來ルヤニシタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデア  
 ハ勿論ソレドモ、其ノ規定ニ依ルノデアリマス、第五章ニハ調停ニ關スル規定ヲ掲  
 ゲタノデアリマシテ現在行ハレテ居リマスルガ、其ノ以外ノ民事ノ紛争ニ付キマシテモ冒頭ニ申述ペマシタルヤウナ理由カラ、廣く調停ニ付シ得ルモノト致シマシタ  
 ラ、ケレドモ、性質上、調停ニ付シ得ルモノト致シマシタ  
 自ラ除外セラレルモノデアリマスルコトハ申ス迄モザイマセヌ、此ノ調停ノ手續ハ大體借地借家調停法ト同様ニナルノデアリマスルガ、多少異リマスル點ハ、調停裁判所ノ管轄ニ相當ノ餘裕ヲ設ケマシテ、場合ニ依リマシテハ受訴裁判所ガ自ラ調停スルコトモ出來ルモノト致シマシタ、又調停ハ裁判所内一定ノ場所デ之ヲ行フコトヲ原則トスルノデアリマスガ、必要ニ應ジマ  
 判所ノ許可ヲ必要トシナイコト致シマシタ、是等ガ變ツタ點デアリマシテ、是等ノ點ハ他ノ調停モ之ニ歩調ヲ合セルヤウニ致シタノデアリマス、此ノ法案ノ大要ハ以上ノケレドモ、ソレデハ極メテ不自由ナ場合ニ於ケル勤務ノ關係、交通機關ノ狀態等ニ鑑ミマシテ、一般訴訟關係人ニ最モ便宜ノアリマシテ、其ノ一ハ、銃後國民ノ戰時下地ニ於テ裁判ヲ爲シ得ル爲ニ土地ノ管轄ニ關スル規定ヲ緩和致シマシテ、又證人、鑑定人ヲシテ裁判所ニ出頭セシムルコトナクト  
 行ヲ圖リマスル爲ニ裁判所ハ攻擊又ハ防禦ノ方法ヲ提出スベキ期間ヲ定メ得ルモノト致シマシテ、其ノ期間内ニ提出シナカツタモノハ裁判所ノ許可ノアツカ場合ダケニ主張ガ出来ルヲ爲シ得ルノ途ヲ開カウト致シマシテ、書類等、簡單ナ方法デ以テ期日ノ呼出しシヤ葉書等、  
 案行ノ期日ノ途ヲ開カウト致シマス、第三  
 ヤ書類等、簡單ナ方法デ以テ期日ノ呼出しシヤ葉書等、  
 ハ訴訟書類ニハ機密ニ至ル事項モ現レテ參ルコトガアリマスルカラ、防諜、其ノ他公  
 リマス、第四章ニハ調停ニ關スル規定ヲ掲  
 ベク破産手續ニ依ラナイデ解決ガ出來ルヤニシタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデア  
 ハ勿論ソレドモ、其ノ規定ニ依ルノデアリマス、第五章ニハ調停ニ關スル規定ヲ掲  
 ゲタノデアリマシテ現在行ハレテ居リマスルガ、其ノ以外ノ民事ノ紛争ニ付キマシテモ冒頭ニ申述ペマシタルヤウナ理由カラ、廣く調停ニ付シ得ルモノト致シマシタ  
 ラ、ケレドモ、性質上、調停ニ付シ得ルモノト致シマシタ  
 自ラ除外セラレルモノデアリマスルコトハ申ス迄モザイマセヌ、此ノ調停ノ手續ハ大體借地借家調停法ト同様ニナルノデアリマスルガ、多少異リマスル點ハ、調停裁判所ノ管轄ニ相當ノ餘裕ヲ設ケマシテ、場合ニ依リマシテハ受訴裁判所ガ自ラ調停スルコトモ出來ルモノト致シマシタ、又調停ハ裁判所内一定ノ場所デ之ヲ行フコトヲ原則トスルノデアリマスガ、必要ニ應ジマ  
 判所ノ許可ヲ必要トシナイコト致シマシタ、是等ガ變ツタ點デアリマシテ、是等ノ點ハ他ノ規定、特ニ民法百六十一條トカ手形法五十條ニ規定ガアリマスモノハ、是ハノ規定ニ依ツテ勧イテ行キマス、サウ云フ規定ガアリマスガ、本案ノ趣旨ハ大體御説明ガアツカ譯デアリマスガ、要スルニ只今ノ、現在アリマスル民法其ノ規定ガ及ビマスガ、特別ナ規定ヲ之ニ設ケル、斯様ナ考デゴザイマス、是ハ只今大體御説明ガアツカ譯デアリマスガ、  
 判所ノ許可ヲ必要トシナイコト致シマシタ、又債權ノ存在其ノ他基本ノ關係ニ付テ争ガナク、些細ナ點ニ付テ話が纏マラチテ争ガナク、其ノ五ハ、裁判所構成法戰時調停法第七條ニ於ケルド同業ニ調停ニ代ル裁判ヲ爲シ得ルコトニシテ居リマス、ソレカラル、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ期

来ルヤウニスルコト、ソレカラ和議條件ハ御承知ノヤウニ平等デナケレバナラナイコトニ現今ハナツテ居リマシテ、是ニ反スルモノハ認メラレナイヤウニナツテ居リマスルアリマシテ、其ノ一ハ、銃後國民ノ戰時下地ニ於テ裁判ヲ爲シ得ル爲ニ土地ノ管轄ニ關スル規定ヲ緩和致シマシテ、一般訴訟關係人ニ最モ便宜ノアリマシテ、其ノ一ハ、銃後國民ノ戰時下地ニ於テ裁判ヲ爲シ得ル爲ニ土地ノ管轄ニ關スル規定ヲ緩和致シマシテ、又證人、鑑定人ヲシテ裁判所ニ出頭セシムルコトナクト  
 行ヲ圖リマスル爲ニ裁判所ハ攻擊又ハ防禦ノ方法ヲ提出スベキ期間ヲ定メ得ルモノト致シマシテ、其ノ期間内ニ提出シナカツタモノハ裁判所ノ許可ノアツカ場合ダケニ主張ガ出来ルヲ爲シ得ルノ途ヲ開カウト致シマシテ、書類等、簡單ナ方法デ以テ期日ノ呼出しシヤ葉書等、  
 案行ノ期日ノ途ヲ開カウト致シマス、第三  
 ャ書類等、簡單ナ方法デ以テ期日ノ呼出しシヤ葉書等、  
 ハ訴訟書類ニハ機密ニ至ル事項モ現レテ參ルコトガアリマスルカラ、防諜、其ノ他公  
 リマス、第四章ニハ調停ニ關スル規定ヲ掲  
 ベク破産手續ニ依ラナイデ解決ガ出來ルヤニシタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデア  
 ハ勿論ソレドモ、其ノ規定ニ依ルノデアリマス、第五章ニハ調停ニ關スル規定ヲ掲  
 ゲタノデアリマシテ現在行ハレテ居リマスルガ、其ノ以外ノ民事ノ紛争ニ付キマシテモ冒頭ニ申述ペマシタルヤウナ理由カラ、廣く調停ニ付シ得ルモノト致シマシタ  
 ラ、ケレドモ、性質上、調停ニ付シ得ルモノト致シマシタ  
 自ラ除外セラレルモノデアリマスルコトハ申ス迄モザイマセヌ、此ノ調停ノ手續ハ大體借地借家調停法ト同様ニナルノデアリマスルガ、多少異リマスル點ハ、調停裁判所ノ管轄ニ相當ノ餘裕ヲ設ケマシテ、場合ニ依リマシテハ受訴裁判所ガ自ラ調停スルコトモ出來ルモノト致シマシタ、又調停ハ裁判所内一定ノ場所デ之ヲ行フコトヲ原則トスルノデアリマスガ、必要ニ應ジマ  
 判所ノ許可ヲ必要トシナイコト致シマシタ、是等ガ變ツタ點デアリマシテ、是等ノ點ハ他ノ規定、特ニ民法百六十一條トカ手形法五十條ニ規定ガアリマスモノハ、是ハノ規定ニ依ツテ勧イテ行キマス、サウ云フ規定ガアリマスガ、本案ノ趣旨ハ大體御説明ガアツカ譯デアリマスガ、要スルニ只今ノ、現在アリマスル民法其ノ規定ガ及ビマスガ、特別ナ規定ヲ之ニ設ケル、斯様ナ考デゴザイマス、是ハ只今大體御説明ガアツカ譯デアリマスガ、  
 判所ノ許可ヲ必要トシナイコト致シマシタ、又債權ノ存在其ノ他基本ノ關係ニ付テ争ガナク、些細ナ點ニ付テ話が纏マラチテ争ガナク、其ノ五ハ、裁判所構成法戰時調停法第七條ニ於ケルド同業ニ調停ニ代ル裁判ヲ爲シ得ルコトニシテ居リマス、ソレカラル、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ期



シテ飛ビ上告ヲ致スヤウナ判決ニ付テハ此ノ簡易ナ判決ヲ許サナイ、認メナイ、斯様ニ致シタ譯デアリマス、次ニ第十一條デゴザイマスガ、是ハ強制執行法ニ關係ガアル。譯デアリマシテ、大體ノ考ヘ方ハ民事訴訟法第五百七十條ノニニ既ニ物ノ差押ニ付テ考ヘテ居リマス、其ノ考ヘ方ヲ取りリマシテ戦争ノ影響ニ因ツテ債務ヲ履行スルコトガ困難ナル場合ニ於キマシテ、債務者ガ誠實ニアリ、債務者ガ債務履行ノ意思ガアリ、又債權者ノ方カラ見テモ其ノ經濟ニ著シク影響ヲ及ボサナイト云フヤウナ事由ガアルトキハ、裁判所ハ判斷ニ依リマシテ債務者ノ申出ヲ俟テ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメズシテ強制執行ヲ停止シタリ、或ハ既ニヤツタ強制執行ヲ取消スヨトガ出來ル、斯様ニ致シテ此ノ戰時ノ戰争ノ影響ニ因ツテノ不合理ヲ成ルベク緩和シテ行カウ、斯様ニ考ヘタ譯デアリマス、次ガ第三章デアリマシデ破産、和議デアリマス、第十二條ハ大體只今強制執行ノ所デ申上ゲマシタ趣旨ヲ破産ニ及ボシテ、破産ノ宣告ヲ猶豫シヨウ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマスガ、此ノ考ヘ方ノ一部ハ既ニ震災當時ニ勅令ニ依リマシテ公布サレテ居ッタノデアリマシテ、其ノ一部ヲ取入レ、サウシテ又戦争ノ影響ノ方ニ結ビ付ケマシテ斯様ナ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、次ニ第十三條ハ破産法ノ三百四條、三百十條ニ關係アル譯デアリマシテ、要スルニ和議ノ條件が平等デナケレバナラスト云フコトガ強ク主張サレマスルト云フト、却ツテ衡平ヲ害スルヤウナコトガアリハシナシカ、色々ノ事情ヲ斟酌シテ少シモ差ガアル、一萬圓ノ債權者ト百圓ノ債權者トノ間ニ少シノ差ガアッテモソレハ平衡ヲ

害シナイト云フコトガ多々考ヘテレルノデトガ望マシイノデハナイカ、斯ウ云フコトテアリマシテ、此ノ考ヘ方ノ基調ハ、新商法ノ四百四十八條デ、整理ノ場合ニ此ノ考ヲ復茲ニ強制和議ノ方ニ現シテ來タ譯デアリマス、ソレガ和議法ニ依ル和議ニモ矢張リ準用スル、斯ウ云フノガ第十三條デアリマス、第四章ハ調停デアリマスガ、停ハ其ノ儘其ノ規定ニ依ツテ調停ヲスル、此ノ調停ニ依リマスルト云フト、サッキ説明ガアリマシテヤウニ、今迄アリマス調停ハ其ノ意味デアルカト云フコトヲ大體申上デアリマス、借地借家調停法第二條ハ申シ必ズシモ區裁判所、地方裁判所ト限定ヲソレ以外ノモノニ付テ調停ガ出來ルト云フ、致シマセズニ、當事者ノ合意ニ依ツテモ地方裁判所ニ調停ノ申立ガ出來ルコトニ致シマシタ、十五條ハ、是モ非常ニ管轄ヲ緩和致シテ、十九條ハ、是モ九條ハ費用ノ豫納ニ關スルモノデアリマス、八條ハ調停手續非公開主義ヲ明カニシタモノニ付スルコトガ出来ル、斯ウ云フコトデアリマス、十條ハ申述ト陳述ハ書面又ハ口頭ニ依ツテ爲シ得ル、十一條ハ調停調書作製ニ關スルモノデアリマシテ、十二條ハ調停ノ効力、和解ト同一ノ效力ガアル、十三條ハ調停前ノ必要ナル處分ニ關スルモノニ付スルモノデアリマス、十五條ハ委員會ノ組織、十六條ハ調停主任ノ指定ト、調停委員ノ指定ニ關スルモノ、十七條ハ調停補助者ニ關スルコト、十八條ガ委員及補助者ノ旅費、日當、止宿料ニ關スルモノニ付スルコトガアリマス、十九條ガ調停主任ノ手續指揮、二十條ガ委員會ノ議決方法、二十一條ガ評議ノ祕密主義、斯ウ云フ規定デアリマス、二十二條ガ期日ノ指定ニ關スル委員會ノ權限、二十三條ガ證據調停手續指揮、二十條ガ委員會ノ議決方法、二十一條ガ評議ノ祕密主義、斯ウ云フ規定デアリマスシ、第九條法デヤルト云フ規定デアリマス、ソレハ其ノ裁判ニ對スル抗告ノ方法ヲ規定シタ

シテ、サウ云フ場合ニハ自ラ調停ガ出來ル、ハナイカ、サウ云フヤウナ場合ニハ、和議トガ望マシイノデハナイカ、斯ウ云フコトテアリマス、二十七條ガ不認可決定ヲ爲シ得トデアリマシテ、此ノ考ヘ方ノ基調ハ、三十條ガトテアリマシテ、三十二條ガ調停申立ノ手數料、三十一條ガ此ノ考ヲ復茲ニ強制和議ノ方ニ現シテ來タ譯デアリマス、ソレガ和議法ニ依ル和議ニモ矢張リ準用スル、斯ウ云フノガ第十三條デアリマス、第四章ハ調停デアリマスガ、停ハ其ノ儘其ノ規定ニ依ツテ調停ヲスル、此ノ調停ニ依リマスルト云フト、サッキ説明ガアリマス、今迄アリマス調停ハ其ノ意味デアルカト云フコトヲ大體申上デアリマス、借地借家調停法第二條ハ申シ必ズシモ區裁判所、地方裁判所ト限定ヲソレ以外ノモノニ付テ調停ガ出來ルト云フ、致シマセズニ、當事者ノ合意ニ依ツテモ地方裁判所ニ調停ノ申立ガ出來ルコトニ致シマシタ、十五條ハ、是モ非常ニ管轄ヲ緩和致シテ、十九條ハ、是モ九條ハ費用ノ豫納ニ關スルモノデアリマス、八條ハ調停手續非公開主義ヲ明カニシタモノニ付スルコトガ出来ル、斯ウ云フコトデアリマス、十條ハ申述ト陳述ハ書面又ハ口頭ニ依ツテ爲シ得ル、十一條ハ調停調書作製ニ關スルモノデアリマス、十二條ハ調停ノ効力、和解ト同一ノ效力ガアル、十三條ハ調停前ノ必要ナル處分ニ關スルモノニ付スルモノデアリマス、十五條ハ委員會ノ組織、十六條ハ調停主任ノ指定ト、調停委員ノ指定ニ關スルモノ、十七條ハ調停補助者ニ關スルコト、十八條ガ委員及補助者ノ旅費、日當、止宿料ニ關スルモノニ付スルコトガアリマス、十九條ガ調停主任ノ手續指揮、二十條ガ委員會ノ議決方法、二十一條ガ評議ノ祕密主義、斯ウ云フ規定デアリマス、二十二條ガ期日ノ指定ニ關スル委員會ノ權限、二十三條ガ證據調停手續指揮、二十條ガ委員會ノ議決方法、二十一條ガ評議ノ祕密主義、斯ウ云フ規定デアリマスシ、第九條法デヤルト云フ規定デアリマス、ソレハ其ノ裁判ニ對スル抗告ノ方法ヲ規定シタ

シテ、サウ云フ場合ニハ自ラ調停ガ出來ル、ハナイカ、サウ云フヤウナ場合ニハ、和議トガ望マシイノデハナイカ、斯ウ云フコトテアリマス、二十七條ガ不認可決定ヲ爲シ得トデアリマス、三十二條ガ調停申立ノ手數料、三十一條ガ此ノ考ヲ復茲ニ強制和議ノ方ニ現シテ來タ譯デアリマス、ソレガ和議法ニ依ル和議ニモ矢張リ準用スル、斯ウ云フノガ第十三條デアリマス、第四章ハ調停デアリマスガ、停ハ其ノ儘其ノ規定ニ依ツテ調停ヲスル、此ノ調停ニ依リマスルト云フト、サッキ説明ガアリマス、今迄アリマス調停ハ其ノ意味デアルカト云フコトヲ大體申上デアリマス、借地借家調停法第二條ハ申シ必ズシモ區裁判所、地方裁判所ト限定ヲソレ以外ノモノニ付テ調停ガ出來ルト云フ、致シマセズニ、當事者ノ合意ニ依ツテモ地方裁判所ニ調停ノ申立ガ出來ルコトニ致シマシタ、十五條ハ、是モ非常ニ管轄ヲ緩和致シテ、十九條ハ、是モ九條ハ費用ノ豫納ニ關スルモノデアリマス、八條ハ調停手續非公開主義ヲ明カニシタモノニ付スルコトガ出来ル、斯ウ云フコトデアリマス、十條ハ申述ト陳述ハ書面又ハ口頭ニ依ツテ爲シ得ル、十一條ハ調停調書作製ニ關スルモノデアリマス、十二條ハ調停ノ効力、和解ト同一ノ效力ガアル、十三條ハ調停前ノ必要ナル處分ニ關スルモノニ付スルモノデアリマス、十五條ハ委員會ノ組織、十六條ハ調停主任ノ指定ト、調停委員ノ指定ニ關スルモノ、十七條ハ調停補助者ニ關スルコト、十八條ガ委員及補助者ノ旅費、日當、止宿料ニ關スルモノニ付スルコトガアリマス、十九條ガ調停主任ノ手續指揮、二十條ガ委員會ノ議決方法、二十一條ガ評議ノ祕密主義、斯ウ云フ規定デアリマス、二十二條ガ期日ノ指定ニ關スル委員會ノ權限、二十三條ガ證據調停手續指揮、二十條ガ委員會ノ議決方法、二十一條ガ評議ノ祕密主義、斯ウ云フ規定デアリマスシ、第九條法デヤルト云フ規定デアリマス、ソレハ其ノ裁判ニ對スル抗告ノ方法ヲ規定シタ



重要ナル生産事業遂行妨害ノ罪、第十五條ハ生活必需品ノ買占及賣惜ノ罪、第十六條ハ往來妨害ノ罪、第十七條ハ住居侵入ノ罪、第十八條ハ飲料水ニ關スル罪ニ關スル規定デアリマス、而シテ放火ノ罪乃至恐喝ノ罪即チ第一條乃至第六條ニ規定セラレタル犯罪ニ對シテハ、「戰時ニ際シ燈火管制中又ハ敵襲ノ危險其ノ他人心ニ動搖ヲ生ゼシムベキ狀態アル場合」ニ於テ犯サレタル時ニ限リ刑罰ヲ加重致スコトニ致シタノデアリマス、蓋シ此ノ種犯罪ハ斯カル特殊ナル狀態ニ於テ犯サレタルモノニアラザル限り刑法ノ定ムル刑罰ヲ以テ其ノ豫防及鎮壓ニ十分ナリト思料致シタルガ故デアリマス、第七條ノ國政變亂ノ目的ヲ以テスル殺人ノ罪ハ刑法所定ノ殺人罪ノ特別規定デアリマス、戰時下殊ニ斯カル犯罪ニ付キマシニ要アル鑑ミ、本條ヲ以て之ニ對シ重キ刑ヲ規定シ、且事ヲ未然ニ防止スルノ刑法的措置ヲ講ズルコトニ致シタノデアリマス、第十條乃至第十五條ノ規定ハ、本法案決書ノ方式等ニ關スル特例ハ、何レモ戰時下ニ於ケル上告審ノ機能ヲ依リ初メテ設ケラレタモノニアリマシ、何レモ治安ノ確保及國防經濟完遂ノ見地ヨリ致シマシテ、缺クベカラザル規定ト存ズルノデアリマス、殊ニ第十五條ニ規定致シマシタ業務上不正ナル利得ヲ得ル目的ヲ以テスル生活必需品ノ買占及賣惜行爲ノ如キハ、物資ノ偏在ヲ招來シ、其ノ配給ノ圓滑ヲ阻害致スコト甚シキ行爲デアリマシテ、國民生活ノ安定ヲ期スル立場ヨリ致シマス、是等ノ規定ヲ通ジマス、刑罰ハ刑法ノ定ムル所ニ比シ、著シタ理由ハ、戰時ニ於キマスル此ノ種犯行ノ

鎮壓、豫防ノ爲メ此ノ程度ノ刑罰ヲ以テ望ムモ亦已ムヲ得ザル所デアルト思料致シタムベキ狀態アル場合」ニ於テ犯サレタル時ニ限リ刑罰ヲ加重致スコトニ致シタノデアリマス、蓋シ此ノ種犯罪ハ斯カル特殊ナル狀態ニ於テ犯サレタルモノニアラザル限り刑法ノ定ムル刑罰ヲ以テ其ノ豫防及鎮壓ニ十分ナリト思料致シタルガ故デアリマス、第七條ノ國政變亂ノ目的ヲ以テスル殺人ノ罪ハ刑法所定ノ殺人罪ノ特別規定デアリマス、戰時下ニ於ケル上告審ノ機能ヲ依リ初メテ設ケラレタモノニアリマシ、何レモ治安ノ確保及國防經濟完遂ノ見地ヨリ致シマシテ、缺クベカラザル規定ト存ズルノデアリマス、殊ニ第十五條ニ規定致シマシタ業務上不正ナル利得ヲ得ル目的ヲ以テスル生活必需品ノ買占及賣惜行爲ノ如キハ、物資ノ偏在ヲ招來シ、其ノ配給ノ圓滑ヲ阻害致スコト甚シキ行爲デアリマシテ、國民生活ノ安定ヲ期スル立場ヨリ致シマス、是等ノ規定ヲ通ジマス、刑罰ハ刑法ノ定ムル所ニ比シ、著シタ理由ハ、戰時ニ於キマスル此ノ種犯行ノ

結局次ノ二ツノ事項ニ歸著致スト存ズルノデアリマス、其ノ一ツハ裁判所構成法戰時特例案第四條ニ規定致シマシタル特殊ノ限制リタル罪ニ關スル控訴審ノ省略デアリ、其ノ二ハ本法案第二十八條及二十九條ニ規定致シマシタ上告手續ニ關スル特例デアリマス、而シテ控訴審ノ省略ニ付キマシテ、裁判所構成法戰時特例案ノ御審議ニ際シ讓りタイト存ジマス、本法案第二十八條及第二十九條ニ規定致シマシタ上告手續ニ關スル特例ハ、上告審ニ於ケル書面審理ノ手續ヲ規定シ、戰時下ニ於ケル上告審ノ機能ヲ發揮セシメムトスル趣旨ニ出ヅルモノニアリマス、其ノ他裁判所ノ證據調査ノ範圍及判決書ノ方式等ニ關スル特例ハ、何レモ戰時下ニ於ケル刑事手續ノ的確且迅速ノ爲蓋シ已ムヲ得ザル所デアリマシテ、裁判所構成法ノ文字デアリマス、私共ハ別ニ深イ考ガアツテ之ヲ使ッタノデハナイノデアリマシテ、御承知ノ裁判所構成法ニ使ツテ居リマス文句其ノ儘ヲ踏襲シタノデアリマス、結局民事訴訟法及び非訟事件、及び是等ニ類似スル手續、左様ニ御了承ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス。

○政府委員(大森洪太君) 御指摘ノ民事ト云フ文字ハ甚ダ分ッタヤウナ分ラナイヤウナ文字デアリマス、私共ハ別ニ深イ考ガアツテ之ヲ使ッタノデハナイノデアリマシテ、御承知ノ裁判所構成法ニ使ツテ居リマス文句其ノ儘ヲ踏襲シタノデアリマス、結局民事訴訟法及び非訟事件、及び是等ニ類似スル手續、左様ニ御了承ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス。

○岩田宙造君 其ノ點ハ只今ノ御説明デ大體分ルト思フノデアリマスガ、其ノ次ニ第二條ノ期間デアリマスガ、此ノ期間ハ先刻民事局長ノ御説明ニ依リマスト、矢張リ法定期間竝ニ契約期間モ此ノ中ヘ入ッテ居ルヤウニ伺ツタノデアリマスガ、サウ致シマス、其ノ期間ハ第二條ノ第二項ニ依リマスト、其ノ期間ハ止ミタル時ヨリ一週間ノ経過ニ後半ノ六箇月間障碍ガ繼續シテ居ル場合ニハ、滿了ノ際ニ障碍ガアルノデアリマスカ、矢張リ其ノ適用ガアツテ、サウシテ満了ノ際ノ障碍ト考ヘマシテモ、只今ノヤウニ後半ノ六箇月間障碍ガ繼續シテ居ル場合ニハ、滿了ノ際ニ障碍ガアルノデアリマスカ、矢張リソレカラ一週間定期間ハ満了スルモノデアルト解釋スル外ナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、如何デアリマスカ。

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノヤウニナルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ事情ノ變更ニ依リマシテ責任ヲ負ハナイト云フコ

ナツタヤウデアリマスガ、只今民事ノ説明ガ濟シダ所デ、質問應答ナシテ、刑事ニ移リマシテハ、ドウモ其ノ點が進行上下ウカト思ヒマス、速記ヲ御止メ願ヒタイ

○委員長(伯爵) (荒芳德君) 速記ヲ止メテ(速記中止)

○委員長(伯爵) (荒芳德君) 速記ヲ始メテ

○岩田宙造君 戰時民事特別法ニ付キマシテ少シ御尋ネシタノデゴザイマスガ、第一條ノ「民事ニ關スル特例」トアリマス文字ト云フノハ、大體ノ觀念ハ分ルヤウデアリマスガ、是ハ何カ一應ドウ云フ範圍ヲ指スノダト云フ御説明ガ願ヘレバ結構ダト思フノデアリマス。

○政府委員(大森洪太君) 御指摘ノ民事ト云フ文字ハ甚ダ分ッタヤウナ分ラナイヤウナ文字デアリマス、私共ハ別ニ深イ考ガアツテ之ヲ使ッタノデハナイノデアリマシテ、御承知ノ裁判所構成法ニ使ツテ居リマス文句其ノ儘ヲ踏襲シタノデアリマス、結局民事訴訟法及び非訟事件、及び是等ニ類似スル手續、左様ニ御了承ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス。

○政府委員(坂野千里君) 只今御尋ノ此ノ障碍ト申シマスノハ、大體ニ於テ期間ノ満了ノ時ニ於ケル障礙ト、斯ウ云フ風ニ考へテ居ル譯デアリマス、民法ノ事項ノ所ノ考ト大體ニ合致シテ考ヘテ居ル譯デアリマス。

○岩田宙造君 滿了ノ際ダケノ障碍ト之ヲ解スルコトモ、ドウモ此ノ文字デハ私ハムジカシイト思フノデアリマスガ、假リニ満了ノ際ノ障碍ト考ヘマシテモ、只今ノヤウニ後半ノ六箇月間障碍ガ繼續シテ居ル場合ニハ、滿了ノ際ニ障碍ガアルノデアリマスカ、矢張リ其ノ適用ガアツテ、サウシテ満了ノ翌日ニ障碍ガ止ング、サウ云フ時ニハ矢張リソレカラ一週間定期間ハ満了スルモノデアリマスガ、如何デアリマスカ。

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノヤウニナルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ事情ノ變更ニ依リマシテ責任ヲ負ハナイト云フコ

トガ考ヘラレルノヂヤナイカト思ヒマス

○岩田宙造君 ドウモ其ノ時ニ事情ニ變更ニ依ッテ云フ又争ヒラシナケレバナラスト、云フヤウナ規定ハ困ルノデハナイカト思フ

ノデアリマス

○政府委員(坂野千里君) 具體的ニ一々ニ付テハドウモソコハ端的ナ規定ガ置ケナイコトニナリマスノデ、大體ノ所ヲ抑ヘテ一週間、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、

特殊ナ約定關係トカ、特殊ナ事情ハ特殊ナ事情トシテ別ニ残ス、斯様ニシタイ、斯ウ

云フ考ヘ方デアリマス、大キナ所ダケヲ抑ヘタ譯ナンデアリマス、御了承願ヒマス

○岩田宙造君 先刻御指摘ニナリマシタ民法ノ百六十一条デアルトカ、手形法ノ五十四條デアルトカ云フヤウナ法定期間ハ、是ハ多クハ或行爲ヲスルノニサウ云フ時ヲ要シナ伊事項ニ皆關係シテ居ルノデアリマス

カラ、ソレデ其ノ障礙ガ止ンダ時カラ遲滞ナクトカ、或ハ何日間トカ云フコトデ少シモ差支ナイノデアリマスルガ、此ノ契約期

間ト云フヤウナモノガ今度入りマシタノデ、全ク其ノ法定期間ニハ商法ヤ民法ニアリマスル場合ヨリモ遅タ決メ方ヲ一體シ

ナケレバナラナカタ、性質ノモノデアルニ拘ラズ、ソレヲ民法ヤ商法ノサウ長イ間ヲ要シナイ場合ノ例ニ從ツテ 規定セラレタ爲

ニ、サウ云フコトガ起ルノデナイカト云フ感ジガスルノデアリマスガ、是ハ私ハドウシテモ何ダカ少シ考ヘテ見ナイト云フト、

直キニ困ルト思フノデアリマス、ソレカラ又契約期出ヲ、外ノ場合ヲ取ツテ見マスト、例ヘバ契約ヲ履行シナイカラ、更ニ契約ヲ履行スルニ相當ナ期間ヲ定メテ催告スル、サウ云フヤウナ場合ヲ考ヘテ見マシテモ、

○岩田宙造君 只今ノ點ハ御趣意ダケハソレデ了解致シマシタカラ、其ノ程度ニ止メテ置キマスガ、第六條ニ付テ少シ御尋ネ致シマス、此ノ裁判所ガ訴訟ニ付テ攻撃防禦ノ方法ヲ提出スル期間ヲ定メル場合デアリ

相當ノ期間ガ、二週間デアリ三週間ヲ要スルノデ、相當ノ期間ヲ定メタ、處ガ其ノ期間内モット障碍ガアッテ、サウシテ其ノ期間が經過後ニ障碍モ止シダト云フ時ニハ、相當ノ期間ハ三週間デアルニ拘ラズ、一週間

ノ經過デ満了スル、サウ云フヤウナ場合ガ頻々トシテ起リ得ルノデアリマスカラ、ドウモ此ノ一週間ノ經過ト云フノヲ、或ハ相當ノ期間ノ經過ト云フヤウナコトニシテ置キマスレバ、其ノ事柄ニ依ッテ、或ハ一年ト云フヤウニモ融通ガ附クト

思フノデアリマスケレドモ、一週間トキツチリ決メテ置クト云フト、ドウモ直グ私ハ差支ガ生ズル場合ガ續出スルノデナイカト思フノデアリマス、如何デゴザイマセウ

○政府委員(坂野千里君) 大體ハ私モ今ノ契約解除ノ場合ニハ相當期間ト云フヤウナコトモ考ヘテ居ル譯ナシデアリマスガ、斯

様ナ例ヲ見マシテ、今御指摘ニナッタヤウニ、アトズット長イ期間ノ内半年モ續イテ

障礙ガアッテ、サウシテ又アト一週間ト云フヤウナ斯ウ云フ場合ハ非常ニ少イノデ、

大體ニ於テハ此ノ一週間デ賄ヘルト、斯ウ

云フヤウニ考ヘタ譯デアリマシテ、色々ナ

事例ヲ調べテ見マシタ結果、餘り長ク致シマスト云フト、是亦、是ガアルガ爲ニ却ツテ適正ナ法律上ノ結果ヲ害スルヤウニナッテ

參ル譯デアリマシテ、此ノ所位デ大體ヲ抑ヘテ宜インデヤナイカト、斯様ニ考ヘマシ

シテモ何ダカ少シ考ヘテ見ナイト云フト、

直キニ困ルト思フノデアリマス、ソレカラ又契約期出ヲ、外ノ場合ヲ取ツテ見マスト、

例ヘバ契約ヲ履行シナイカラ、更ニ契約ヲ履行スルニ相當ナ期間ヲ定メテ催告スル、

サウ云フヤウナ場合ヲ考ヘテ見マシテモ、

マスガ、是ハ裁判所ガ必要アリト認ムルトキナツテ居マスルガ、ドウ云フ場合ヲ豫想サレルノデアリマセウカ、其ノ必要ト認ムルト云フ場合デアリマス、是ハ直キ空襲デモアリサウデアルトカ、或ハ何カ非常ニ擾亂デモ起ツテ、悠々ト訴訟ナンカラヤッテ居レナイ事情ガ切迫シタトカ云フヤウナ場合ヲ想像サレルノデアリマセウカ、ドウ

云フ場合ヲ此ノ必要ナリト豫想サレテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(坂野千里君) 大體此ノ特ニ必要アリト認メル場合ハ、訴訟ガ遲延スル虞レガアル場合ト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、百三十九條ニ依リマスト云フト、

故意又ハ重大ナル過失ニ因ツテ訴訟ヲ遲延セシメタルトキト、斯ウ云フヤウニナッテ

リマスガ、茲ニ又重大ナル過失ト云フコトノ限定問題ニ色々觸レマスノデ、

斯様ナ問題ニ觸レズニ、訴訟ノ遲延ト云フ、

云フコトノ限定問題ニ色々觸レマスノデ、

云フコトハ、戰時特例ノ法トシテハ如何カト考ヘルノデアリマスケレドモ、

方法ヲ提出スル期間ヲ定メルト云フ規定ヲ設ケルト云フコトハ、戰時特例ノ法トシテ

時ニ基因スル關係ト離レテ、ソレトハ全然關係ノナイ場合デアッテモ、此ノ攻撃防禦ノ

方法ヲ提出スル期間ヲ定メルト云フ規定ヲ

ハザル、戰爭ニ起因スル障碍ガ起リマシタ

時ニハ、矢張リ第一條ニ依ッテ此ノ期間ハ伸張サレルノデアリマスカ

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノ通りデアリマス

○岩田宙造君 ドウモ私ハ此ノ第六條ノ此ノ「必要アリト認ムル」ト云フコトヲ私ハ戰

マスカラ、其ノ必要アリト認ムルトキナツテ

補足ヲスル次第デアリマスルガ、此ノ第六

條ノ規定ハ御承知ノ通り、或ハ戰爭ニ極メ

テ直接ナモノダトハ言ヘナイカモ知レマセ

ヌケレドモ、私共之ヲ立案致シマシタ趣旨

ハ、御承知ノ通りニ斯様ナ戰時狀態ニナリマスルト、ドウシテモ職員ノ方デ手不足ニ

相成ルノデアリマス、又訴訟關係者ノ方ニ於キマシテモ、交通障碍等ノ爲大變ナ不便ヲ感ズル譯デアリマシテ、斯様ナ戰時狀態

定シテ置イタ譯デアリマス

○岩田宙造君 只今ノ御説明ハサウ伺ツテ

キトナツテ居マスルガ、假ニサウ云フ必要アリト認メ

テ、攻撃防禦ノ方法ヲ提出スベキ期間ヲ定

メラレマシタ時ニ、期間ヲ遵守スルコト能

ハザル、戰爭ニ起因スル障碍ガ起リマシタ

時ニハ、矢張リ第一條ニ依ッテ此ノ期間ハ伸

張サレルノデアリマスカ

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノ通りデアリマス

○岩田宙造君 ドウモ私ハ此ノ第六條ノ此ノ「必要アリト認ムル」ト云フコトハ、戰時特例ノ法トシテ

時ニ基因スル關係ト離レテ、ソレトハ全然

關係ノナイ場合デアッテモ、此ノ攻撃防禦ノ

方法ヲ提出スル期間ヲ定メルト云フ規定ヲ

設ケルト云フコトハ、戰時特例ノ法トシテ

ハ如何カト考ヘルノデアリマスケレドモ、

云フコトデアリマスト、ドウモ折角期間ヲ

ハ如何カト考ヘルノデアリマスケレドモ、

云フコトハ、戰時特例ノ法トシテ

ハ如何カト考ヘルノデアリマスケレドモ、

云フコトハ、戰時特例ノ法トシテ

ハ如何カト考ヘルノデアリマスケレドモ、

云フコトハ、戰時特例ノ法トシテ

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノヤウニ

民事局長ノ答ニ

○政府委員(大森洪太君)

大體平素デモ起リ得ル所デアリマスガ、戰時ニ

タクナイ、斯ウ云フ立場カラ特ニ此處ニ規

ハ、御承知ノ通りニ斯様ナ戰時狀態ニナリ

マスルト、ドウシテモ職員ノ方デ手不足ニ

相成ルノデアリマス、又訴訟關係者ノ方ニ

於キマシテモ、交通障碍等ノ爲大變ナ不便

ヲ感ズル譯デアリマシテ、斯様ナ戰時狀態



フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス、デアリ  
マスカラ、猶豫期間内ニ後援者モ出テ來ズ、  
金策ノ途モ出來ナカッタ、個々ノ事案ニ付テ  
和解モ調停モ出來ナカッタ云フコトニナ  
リマスレバ、是ハ結局破産ノ宣告ヲセザル  
ヲ得ナイノデアリマス、何時迄モ破産ニセ  
ズニ置イテ置クノデハナク、破産ノ宣告迄  
ノ一步手前ニ多少ノ猶豫ヲ存シテ置ク、斯  
様ナ趣旨カラ立案シタヤウナ次第デアリマ  
ス

○岩田宙造君 其ノ御趣意ハ能ク分ルノデ  
アリマスガ、此ノ規定ニ依リマスト、唯破  
産手續ノ中止ト云フダケデアツテ、延期スル  
トカ、猶豫スルトカ云フコトデナクシテ、  
唯破産ノ手續ガ出來ナイト云フコトニナツ  
テ居リマスカラ、此ノ規定ダケデハ只今ノ  
御趣意ノヤウナ效果ハ擧ラナイノデヤナイ  
カト云フコトヲ心配スルノデアリマス、尤  
モアトハ意見デアリマスカラ、只今ノ私ノ  
質問ハ此ノ程度デ止メテ置キマス、其ノ次  
ハ調停ノ方ノ第十六條デアリマスガ、第十  
六條デ受訴裁判所ガ調停ヲ行フト云フコト  
ニナリマシタ場合ニハ、其ノ調停主任タル  
判事ハ裁判所ヲ規定スト、特ニ此ノ場合  
ニ限テ調停主任タル判事ヲ指定スルト云  
フ規定ガ設ケアルノハ、ドウ云フ必要カ  
ラデアリマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 此ノ點ハ毎年調  
停主任判事ヲ地方裁判所長ガ指定スルト云  
フコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ受訴  
裁判所ノ判事ガ必シモ調停主任ニナラヌ  
譯デアリマス、ソレガ普通ノ裁判所ノ行キ  
方デアリマス、ソコデ其ノ裁判所ヲ構成シ  
テ居ル判事が調停主任トナツテ調停ヲ導イ  
テ行ク方ガ非常ニ良イ結果ニナリ得ルト云

○岩田宙造君 其ノ御趣意ハ能ク分ルノデ  
アリマスガ、此ノ規定ニ依リマシテ、定メタ地方裁判所ニ  
調停ノ申立ヲ爲シマシタヤウナ場合ハ、其  
ノ地方裁判所ガ調停ヲスルノカト思フノデア  
リマスガ、其ノ場合モ同ジヤウニ必要ガ  
アルノデハナイノデアリマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 此ノ場合ニハマ  
ダ事件ガ受訴裁判所ニ繋テ居ラナイ場合  
カラ、是ハ地方裁判所長ガ前以テ地方裁判  
所ノ判事ノ中デ豫メ調停主任ヲ定メテ居リ  
マス、其ノ調停主任ニヤラシテ足ル、斯様  
ニ考ヘテ居リマス

○岩田宙造君 サウ致シマスト、此ノ第十  
六條ノ方ハ受訴裁判所トアリマスケレドモ、  
モウ少シ狭イ意味デ、例ヘベ何部カアルヤ  
ウナ場合ニ其ノ鑿屬シテ居ル受訴裁判所ノ  
其ノ部デ定メルト云フ意味デアリマスカ、  
其ノ部カラ選任スルト云フ意味デアリマス  
カト云フコトヲ心配スルノデアリマス、尤  
モアトハ意見デアリマスカラ、只今ノ私ノ  
質問ハ此ノ程度デ止メテ置キマス、其ノ次  
ハ調停ノ方ノ第十六條デアリマスガ、第十  
六條デ受訴裁判所ガ調停ヲ行フト云フコト  
ニナリマシタ場合ニハ、其ノ調停主任タル  
判事ハ裁判所ヲ規定スト、特ニ此ノ場合  
ニ限テ調停主任タル判事ヲ指定スルト云  
フ規定ガ設ケアルノハ、ドウ云フ必要カ  
ラデアリマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 其ノ方カラ特ニ  
考ヘテ居ル譯デゴザイマス

○岩田宙造君 私ハ一應此ノ程度デ質問ヲ  
終リマス

○山川端夫君 私ハ極ク素人ノ立場カラ御  
尋ねシタインデアリマスルガ、本案ノ規定  
ノ中デ例ヘバ第六條、是ハ裁判ノ進行ヲ成  
ルベク敏速ナラシメルト云フ御趣旨デ出来  
十分ニ舉ゲルコトノ出來ナイノハ甚ダ汗顏  
モ、私共微力ノ爲ニ民事訴訟促進ノ成績ヲ  
付テノ御意見デアリマスガ、私共矢張リ戰  
時法トシテ之ニ臨ミタイ積リデアリマス、  
ノ次第ニ存ジテ居リマス、先ヅ第十六條ニ  
致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、  
又ソレト同時ニ裁判ト民衆ト相親シム、何ダ  
カ裁判所ト云フ所ハ戦慄スベキ場所ダト云フ  
ヤウナ感ジヲ徐々ニ除イテ行クノハ、此  
ノ調停ヲ裁判所ニ於テ行フト云フコトガ大  
變結構チヤナシカ、斯様ナ考カラ致シマシ  
テ、調停ト正義ノ殿堂ト云フモノト不可分  
ノ可離ノ關係ニ致シタカツタノデアリマス、  
併シ戰時下ニ於キマシテヘ、交通ノ障碍等多  
少ノ不便ガアリマスルカラ、是亦戰時下  
特例ノ、例外トシテ之ヲ行シテ行キタイ、斯様  
ニ考ヘタノデアリマス、第十九條ニ付テモ  
同様デアリマス、即チ便利ハ便利デアリマ

所ニ依ルト可ナリ事件ガ長引クモノガ非常  
ニ多イヤウデアリマス、サウ云フ點カラ行  
キマスト、是ハ戰時ニ限ラズ何デモ早ク裁  
判ヲ進行スル、終結スルト云フコトガ一般  
ノ者ノ爲ニハ非常ニ必要ヲ感ジラレルノデ  
アリマス、ソレデ此ノ第六條ノ規定ノ如キ  
ハ先程岩田君ノ御質問ノ中ニモチヨットア  
リマシタガ、寧ロ是ハ戰時法ナクテ平常ノ  
方ニ斯ウ云フコトヲ御規定ニナシタ方ガ宜ク  
ハナイカト思フノデアリマス、戰時ニ限ラナイ  
問題デ平常カラ斯ウ云フ規定ガアル方ガ宜  
クハナイカ、戰時法ナイ方ニ御改正ニナシ  
タ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ感ジ  
ガスルノデアリマス、同ジク第九條ニ付キ  
マシテ同様ノ感ジヲ持チマス、ソレカラ第  
十七條、第十九條、之モ平常カラ斯ウ云フ  
規定ヲ適用サレル方ガ宜イノデハナイカ、  
必ズシモ戰時ニ限ルコトデナイデヤナイ  
カ、戰時ニモ無論必要ガアルケレドモ、平  
常ニモ尙必要ガアルト見受ケララレルノデ  
アリマス、一般ノ規定ニ於テ御改正ニナル  
方ガ宜イノデハナイカト云フ氣ガスルノデ  
アリマス、ソレニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ  
ノデアリマス

○政府委員(大森洪太君) 民事訴訟ノ實績  
ガ今尙至難ノ状態ニアリマスコト、實ニ私  
共慚愧ニ存ジテ居ル次第アリマス、實ハ  
種々畫策ハ致シテ居ルノデアリスマケレド  
モ、私共微力ノ爲ニ民事訴訟促進ノ成績ヲ  
付テノ御意見デアリマスガ、私共矢張リ戰  
時法トシテ之ニ臨ミタイ積リデアリマス、  
ノ次第ニ存ジテ居リマス、先ヅ第十六條ニ  
致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、  
又ソレト同時ニ裁判ト民衆ト相親シム、何ダ  
カ裁判所ト云フ所ハ戦慄スベキ場所ダト云フ  
ヤウナ感ジヲ徐々ニ除イテ行クノハ、此  
ノ調停ヲ裁判所ニ於テ行フト云フコトガ大  
變結構チヤナシカ、斯様ナ考カラ致シマシ  
テ、調停ト正義ノ殿堂ト云フモノト不可分  
ノ可離ノ關係ニ致シタカツタノデアリマス、  
併シ戰時下ニ於キマシテヘ、交通ノ障碍等多  
少ノ不便ガアリマスルカラ、是亦戰時下  
特例ノ、例外トシテ之ヲ行シテ行キタイ、斯様  
ニ考ヘタノデアリマス、第十九條ニ付テモ  
同様デアリマス、即チ便利ハ便利デアリマ

スケレドモ、成ルベク普通ノ方法ニ依ツテ訴

訟ハ平時ハ促進シテ行キタイ、唯併シナガ

ラ戰時ニ於テハ已ムヲ得ナイ關係ガアリマ

スルカラシテ、寧ロ望マシカラザルコトデ

ハアリマスケレドモ、是ダケノ便法ハ御勘

辨ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ趣旨デ立案ヲ致シ

タヤウナ次第デアリマス、右御了承ヲ願ヒ

タイト思フノデアリマス

○山川端夫君 御趣意ハ分リマスガ、是以

上ハ或ハ議論ニナルノデアリマスケレドモ、

第六條ノ説明ヲ伺ツモ、直ダ此ノ攻擊防禦

ノ方法ニ付テノ期間ヲ設ケル趣旨デハナイ

ノデ、特ニ必要ヲ認メル、而モソレガ重大

ナ故意又ハ重大ナル過失ニ依ツテ訴訟ガ遲

延スル虞アル場合ト云フコトヲ大體御考

ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、サウスレバ

必ズシモ戰時ニ限ラヌデモ宜イノデヤナイ

カ、不斷デモサウ云フ特殊ナ場合ニハスウ

云フ規定ヲ御設ケニナル方ガ宜クハナイカ

ト云フヤウナ意見ヲ私ハ持ツテ居ルノデア

リマス、第九條等ニ付テハ是ハ荒療治デハ

ナクテ、先ヅ書面ヲ提出セシメルト云フコ

トハ大變宜イコトデヤナイカト思ヒマス、後

是ハ書面ダケデ、出し放シデハナクテ、後

デ必要ガアレバ裁判所ニ呼ビ出シテ訊問ガ

出來ルト云フヤウナ御趣意デアレバ此ノ方

ガ却ツテ宜イノデヤナイカ、殊ニ裁判所デア

ラレルト云フコトハ大變宜イコトデアリマ

スケレドモ、又一般ニハ非常ニ關係スル良

シ意見ニナリマスガ、此ノ位ノ程度デ止

メテ置キタイト思ヒマス、ドウカ御考慮ヲ

願ヒタトイ思ヒマス

○政府委員(大森洪太君) 民事訴訟ノ遲延

ノ實情ニ對シマシテ、我々ハ十分ナル努力

ヲシタインデアリマスガ、尙此ノ上共是等

ノ點ニ付テハ御警告ナリ御援助ヲ御願ヒシ

タイノデアリマシテ、其ノ趣旨ニ於キマシ

テ、只今ノ御意見ハ私共篤ト十分拜承ラシ

タヤウナ次第デアリマス、尙第九條ノ訊問

ニ關スル書面ノ提出デアリマスガ、全ク御

尤ナ次第デアリマシテ、裁判所ヘ出テ來ル

コトハ確カニウルサインデアリマスガ、是

ハ宣誓ノ手續ヲモ省略サセヨウト云フノデ

アリマシテ、宣誓ノ手續ヲ省略シテ尙且書

面ヲ出サセルト云フ場合デアリマスカラ、

多クノ場合ニ之ヲ擴ゲテ行クト云フ積リハ

ナイノデアリマス、是亦右ノ意味合ヲ御了

承ヲ願ヒタインデアリマス

○山川端夫君 モウ一點、極ク小サイコト

デアリマスガ、條文ノ書キ方デアリマス、

第二條ノ但書ニ「他ノ法令ニ定アルモノニ

付テハ其ノ定ニ從フ」トアリマス、是ハ内

容ノ問題ニ付テハ異議ヘアリマセヌガ、此ノ

書キ方方デ見マスト、期間ハ延長スルガ、他

ノ法令ニ別ノコトガ書イテアレバソレニ

依ツテヤル、其ノ法令ノ定ニ依ツテヤルト云

程度ニ致シマシテ、午後一時半カラ再開致

シタトイ思ヒマス

○山川端夫君 サウスルト、他ノ法令ニ期間ノ延長ニ關スル別段ノ定アル時ニハ、ソレニ從フト云フ趣意デアリマスカ、餘リ文字ヲ省略サレル爲ニ却ツテ分リニククナックヤウナ氣ガ致シマス

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノ通リデアリマス

○委員長(伯爵一荒芳德君) 午前中ハ此ノ

午後一時三十四分開會

○委員長(伯爵一荒芳德君) 委員會ヲ再開致シマス、民法中改正法律案、此ノ法律案ニ付キマシテ御質問ハゴザイマセヌカ……

○委員長(伯爵一荒芳德君) 委員會ヲ再開致シマス、民法中改正法律案、此ノ法律案ニ付キマシテ御質問ナトイモノト認メマス、次ニ不動産登記法中改正法律案、此ノ法律案ニ付キマシテ御質問ハゴザイマセヌカ……

○次田大二郎君 私何ト謂フカ極メテ幼稚

ナ質問ヲ致スノデスガ、此ノ法律ニ戰時ト

云フ字ガアルガ、是ハ先程ノ御説明ニ依リ

マスト大東亞戰爭ヲ意味スル、是ハ此ノ戰

時民事特別法案バカリデナク、今後出マス

アリマス

○政府委員(坂野千里君) 此ノ越旨ハ、今

ノト認メマス、然ラバ此ノ兩法案ノ採決ヲ

ニ此ノ越旨ノ規定ガアル時ニハソレニ從ツテ行ク、伸長サセナイト云フ意味ハ無論ナ

イノデアリマス、初メ別段ノ定ト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマスカ

イマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵一荒芳德君) 全會一致御異

案ノ通リニシタノデアリマス、此ノ兩法律案ハ此

不動産登記法中改正法律案、此ノ兩案ハ政

府提出ノ通リ可決ヲ致シマシテ御異議ゴザ

イマセヌカ

ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ大東亞戦争ト云フ意味ニナリマスト、此ノ法律ハ大東亞戦争ガ濟ミマシタラバ、是ハマア何カノ形式デ濟ンダト云フコトヲ表示スルコトニナルダラウト思フノデスガ、濟ミマシタラバ、モウソレト同時ニ此ノ法律ハ效力ヲ失フモノデアリマスカ、或ハ此ノ法律ノ效力ヲ失ハス爲ニ特別ノ立法ヲ必要トスルト云フ御考ナノデアリマセウカ、此ノ二ツノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(大森洪太君) 只今御質疑ノ第一點デアリマスル「戦時」ノ文字ニ付テノ解釋ノ問題デアリマスガ、御尤ニ御質疑ト存

ズルノデアリマス、御承知ノヤウニ民法ナリ、商法ナリ、或ハ民事訴訟法ナリ、其ノ他ノ法規ニ於キマシテモ、單ニ「戦時」ト規定

定ラ致シマシテ、所謂抽象的ニ總テノ戰時ヲ指ス用例モ確カニアルノデアリマス、即チ斯様ナ使ヒ方ニ依リマスルト、日清戰争

デモ、日露戰争デモ、或ハ將來何等カノ場合ニ起リマス戰争デモ、總テ指稱スル譯デ

アリマスルガ、今回御審議ヲ願ッテ居リマスル裁判所構成法ノ特例案、戰時民事特別

法案及戰時刑事特別法案、此ノ三案ニ於テ「戦時」ト申シマスルノハ、大東亞戦争ニ限

争ガ濟ンダナラバ、モウ目的ガナクナツテ、當然消滅スル、當然效力ガナクナル、別ニ立

ニ存ズルノデアリマスガ、實質的ニ申シマスルト、此ノ三案ハ實體法規並ニ訴訟手續ニ相當重大ナル變更ヲ加ヘムトスルノデア

リマシテ、此ノ大東亞戦争ノ如キ大規模ノ戰争、即チ今次ノ戰争ヲ目標トシテ規定ヲシ

タルモノデアリマシテ、大東亞戦争以外即チ此ノ以後ニ如何ナル戰争ガ起リマスルカ、ソ

レハ私共モ勿論豫測ハ出来マセヌケレドモ、

此ノ以外ノ戰争タルヤ、必ズヤ此ノ戰争ト同じ程度、同ジ規模ノモノダトハ思ハナイノト云フ積リデ立案ヲシタノデアリマス、第二點ノ御質疑デアリマスル戰争終了ハ、固

ヨリ平和克復ニ依リテ決スルノデアリマセウガ、此ノ三法案ニ付キマシテハ、若シ幸ヒ

ラレテ居リマスナラバ、別ニ法律ヲ以テ之ヲ廢止スルコトヲ明カニスル積リデアリマス、其ノ方針ト、ソレカラ此ノ三法案ノ附則ノ末尾ニ書イテアリマスル經過ニ關スル

規定、此ノ二點ガ相俟チマシテ、此ノ三法案ノ内容ニハ唯「戦時」ニト簡單ニ書イテアリマスルケレドモ、大東亞戦争の意味スルノ

ト云フ御了解ガ願ヘル積リデアッタノデアリマス、以上御答ヲ致シタ次第デアリマス

○次田大三郎君 シツコイヤウデスガ、「戦時」ト云フノハ、「大東亞戦争ノ時ニ於ケル」

ト云フヤウニ書イテハ、何カ不都合ナコトガアルノデアリマセウカト云フ疑問ガ續イテ

アリマス、生ズル譯デアリマス、ソレカラモウ一つハ、大東亞戦争ニ限ルト云フノナラバ、別ニ戰争ガ濟ンダナラバ、モウ目的ガナクナツテ、當

然消滅スル、當然效力ガナクナル、別ニ立

ニ存ズルノデアリマスガ、實質的ニ申シマスルト、此ノ三案ハ實體法規並ニ訴訟手續ニ相当重大ナル變更ヲ加ヘムトスルノデア

リマシテ、此ノ大東亞戦争ノ如キ大規模ノ戰争、即チ今次ノ戰争ヲ目標トシテ規定ヲシ

タルモノデアリマシテ、大東亞戦争以外即チ此ノ以後ニ如何ナル戰争ガ起リマスルカ、ソ

レハ私共モ勿論豫測ハ出来マセヌケレドモ、

○政府委員(大森洪太君) 第一點デアリマスルガ、御指摘ノ通りニ、今次ノ戰争、或

ハ大東亞戦争ト云フコトヲ法文ノ中ニ現ハスコトハ勿論差支ハナイノデアリマシテ、

ソレラ故意ニ避ケタ譯デハナイノデアリマ

ス、唯立案ニ當リマシタ樂屋内ノ話デアリマスケレドモ、私ノ氣持ダケヲ申述べマスルト、此ノ大東亞戦争、是ハ勿論今次ノ戦争デアリマス、詰リ此ノ三法案ハ、今回ノ斯カル大規模ナル大東亞戦争ノミニ適用スルト云フ積リデ立案ヲシタノデアリマス、第一點ノ御質疑デアリマスル戰争終了ハ、固

争デアリマシテ、此ノ戰争ヲ我々目標トシテ進ンデ居ルノデアリマシテ、此ノ大東亞戦争ガ終了ノ後ニ我ガ日本ニ關スル限り、

果シテ戰争ト云フモノガアルノデアルカ、ナイノデアルカ、左様ナコトヲ豫想スル迄

モナイノデアリマシテ、此ノ大東亞戦争ニ

目標ヲ集中シテ規定スレバソレデ宜イ、斯様ナ心持デアッタノデアリマス、是ハ理窟ノ

問題デハナイノデアリマシテ、斯様ナ感情ヲ持チツ、法案ヲ書イタ、左様ニ御了承願

ヒタイノデアリマス、第二點ハ誠ニ御尤ナ

ル御見解デアリマシテ、此ノ法案ガ實質ハ只今申述ベタ通り、形式上大東亞戦争ニ關

スルモノデアルコトハ毛頭モ疑ガナイモノ

デアリマスルナラバ、是ハ形式上ノ問題デアリマス、ソレハ御指摘ノ通リニ當然戰爭終了ト共ニ失效スル、斯ウ見ルノガ至當デ

アリマセウ、併シ丁度斯ウ云フヤウナ恰好

デアリマスルカラ、是ハ改メテ法律ヲ以テ

之ヲ廢止スルニ如クハナシ、其ノ方ガ丁寧

デアル、其ノ方ガ明カデアル、斯様ニ考ヘ

タ次第デアリマシテ、其ノ方針ヲ以テ臨ンダ次第デアリマス

○次田大三郎君 御説明ヲ伺ヒマスルト、

大東亞戦争ト云フ文字ヲ表ハシテモ差支ガナイ、ソレナラバ其ノ文字ヲ表ハサレタ

ガナイ、今ノ疑ヲ除去スル爲ニ戰争ガ濟ンダ

方ガ、今ノ疑ヲ除去スル爲ニ戰争ガ濟ンダ

ムルト云フ面倒ナ手續ヲスル必要モナクテ

非常ニ親切ナンチャナイカ、サウ云フ風ニ

思ヒマスガ、併シ是ハ議論デアリマスカラ

コトガアルカモ知レマセヌ、唯私が此ノ疑問ヲ起シマシタノハ、實ハ今日初メテ承ツタ

ソレニハ第一條ニ「國務大臣ハ戰時(戰争ニ

准ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)

特別ノ法律ガ政府カラ提出サレテ居リマス、

ソレニハ第一條ニ「國務大臣ハ戰時(戰争ニ

准ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)

○委員長(伯爵一荒翁德君) 速記ヲ止メテ

○山岡萬之助君 戰時民事特別法案、之ニ

付キマシテ段々御質問ガアリマシテ殆ド問

題モ盡キテ居リマスルガ、一三三點擧ゲテ

府ニ承ツテ置キタイト思ヒマス、午前中ノ質

問應答ノ中ニ此ノ立法ハ戰時法アル、ガ併シ法文ノ中ニハ戰時以外即チ平時ニ於テモ適用スルコトガ望マシヤウナ法規モアル、殊ニ訴訟ノ遲延ヲ防グ點ニ付テハサウ云フ風ニ考ヘテ行クベキ問題ニ付テ政府ニ於テハ是ハ戰時立法アルカラ何處迄モ戰時ニ限ルト斯ウ云フ御説明デアリ、而シテ更ニ民事訴訟ハ非常ニ遲延勝デアル、之ヲ是正スルコトハ司法當局トシテハ非常ニ苦心ヲ拂ツテ居ル、將來ニ付テモ是ガ努力ニ努メルト云フコトデ其ノ政府ノ心構ニ付テハ私モ誠ニ結構ナコダト思フノデアリマス、唯併シ私ノ伺ヅテ置キタイコトハモウチヨット進シダ根本的ナ考ヘ方ニ付テ伺ヒタインノデアリマシテ、戰時立法ハ成ル程非常立法ニ外ナラヌノデアリマスカラ、戰爭が濟メバナクナルノハ當然ナコトデアリマスケレドモ、鬼ニ角此ノ戰時狀態ト云フモノハ既ニ事變トシテハ長ク續ク、之カラモ相當長期ニナルト云フコトハ覺悟シナケレバナラナイ、其ノ長期ノ間ニ條文コソ少ケレ、民事刑事ニ互ツテ殆ド總テノ動キニ對シテ規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウスルト相當長イ期間之ヲ運用シテ參リマスト云フト、ソコニ實際ノ裁判慣習、其ノ他廣イ意味ニ於ケル司法慣習ト云フモノガ出來テ來ル、サウナリマスト云フト之ヲ全然元ヘ戻シテ古イ法律觀念デヤシテ行カウト云フコトハドウカト思フノデアリマス、私ハ望マナイノデアリマス、何故カト申シマスレバ既ニ時代ハ經過致シマシテ今日ハ國家ノ有ラユル事態ハ改革ヲシナケレバナラヌ、是ハ私今更申ス必要モナイコトデ、即チドウシテモ諸般ノ事物ハ改革ヲ要スル、斯ウ云フコトニナルト云フ司法ニ於テモ日本法律ト

云フコトヲ言ハレテ色々御研究ニナッテ居ルノデアリマス、サウスルトサウ云フ見地力ラ改革ヲシナケレバナラヌト云フ考ヘ方カ行クト云フト、此ノ戰時立法ト云フモノモ其ノ見地カラ出テ相當迄改メル、即チ正シイモノニ改メル、改ムベカラザルモノハ成ルベク控ヘ目ニスル、改メテ宜イモノハ控ヘ目ニスル必要ハナイ、大イニ進ンデ規定ヲシタ方ガ宜イ譯デ、ソコデは私ノ考トシテハ、諸般ノ事物ハ改革シナケレバナラヌト云ノデアルカラ、改革ニ必要ノアル限りシ私ノ考デ此ノ立法モシ又運營モシテ行ク、是ガ宜ノデアルト思フノデアリマスガ、午前ノ御説明ニ依レバ戰時立法アルカラ戰時ガ濟メバ是ハ止メテ元ヘ戻ルノダ、斯ウ云フ風ナ意味ノ御説明デアリマス、私ハ元ヘ戻ルト云フ考ヘ方ガドウカト思フノデアリマス、戻ルト云フノハ戰時ニ於ケル特殊ナモノダケ止メルノデアリマスケレドモ、宜イモノハ何モ戻ス必要ハナイ、戰時立法ニ依ツテ長期ノ戰爭が行ハレタナラバ良イコトヲ云フナラヌト云コトハ全ソ訴ヲ提起スル迄ハ民事ノコトダカラ裁判所ガ進ンデ云フ裁判形式ハ此ノ際考ヘ直サナケレバナラヌト思フ、サウスルト凡ソ訴ヲ提起然ルニ個人主義ニ偏シテ主張ヲセズニ、權利ノ上ニ眠ツテ居レバ其ノ儘トスル、斯ウ云フ裁判形式ハ此ノ際考ヘ直サナケレバナラヌト思フ、サウスルトシテナラヌコトハ問題ニナリマセヌガ、當事者ガ之ヲドウカシテ貰ヒタイト云フ意味デ訴ヲ出シ、權利ガアルヤウニシテ貰ヒタイト云フモノハ其ノ儘進ンデ行ケバ宜カラウ、デスカラサウ云フ根本ノ考ヘ方ニ付テ午前ノ御説明デハ私ニハドウカト疑ガアリマスカラ、今一應御説明願ヒタイ、ソレカラ第二ニ、ノ憂ヘラレル通リデアリマス、民間ニ於テモ頗ル困ヅテ居リマス、我ガ國ニ於ケル民事訴訟ノ發展シナイ所以ハ凡ソ訴訟ガ長ク掛カツテ費用ノ爲ニ權利ノ執行ト云フモノハ殆ど出來ナイ、サウ云フ狀態ニアル、加フルニ裁判官ノ能率ヲ増進スル所以デナイ、其ノ點ガ法文ニ現レテ居ラヌヤウニ思フ、殊ニ

禦ノ期間ヲ定メ、ソレニ依ツテ攻撃防禦ガ出来ナイヤウニスルノハ消極的ノ規定デ、モツト事實ノ真相ヲ積極的ニスルヤウニ規定スル、一體民事訴訟ガ當時者ノ處分權ヲ土臺ニシテ居ルト云フコトヲ一ツ考ヘ直サナケレバナラヌデハナイカ、凡ソ裁判所ノ事務モ其ノ見地カラ出テ相當迄改メル、即チ正シイモノニ改メル、改ムベカラザルモノハ成ルベク控ヘ目ニスル、改メテ宜イモノハ控ヘ目ニスル必要ハナイ、大イニ進ンデ規定ヲシタ方ガ宜イ譯デ、ソコデは私ノ考トシテハ、諸般ノ事物ハ改革シナケレバナラヌト云ノデアルカラ、改革ニ必要ノアル限りシ私ノ考デ此ノ立法モシ又運營モシテ行ク、是ガ宜ノデアルト思フノデアリマスガ、午前ノ御説明ニ依レバ戰時立法アルカラ戰時ガ濟メバ是ハ止メテ元ヘ戻ルノダ、斯ウ云フ風ナ意味ノ御説明デアリマス、私ハ元ヘ戻ルト云フ考ヘ方ガドウカト思フノデアリマス、戻ルト云フノハ戰時ニ於ケル特殊ナモノダケ止メルノデアリマスケレドモ、宜イモノハ何モ戻ス必要ハナイ、戰時立法ニ依ツテ長期ノ戰爭が行ハレタナラバ良イコトヲ云フナラヌト云コトハ全ソ訴ヲ提起スル迄ハ民事ノコトダカラ裁判所ガ進ンデ云フ裁判形式ハ此ノ際考ヘ直サナケレバナラヌト思フ、サウスルトシテナラヌコトハ問題ニナリマセヌガ、當事者ガ之ヲドウカシテ貰ヒタイト云フ意味デ訴ヲ出シ、權利ガアルヤウニシテ貰ヒタイト云フモノハ其ノ儘進ンデ行ケバ宜カラウ、デスカラサウ云フ根本ノ考ヘ方ニ付テ午前ノ御説明デハ私ニハドウカト疑ガアリマスカラ、今一應御説明願ヒタイ、ソレカラ第二ニ、ノ憂ヘラレル通リデアリマス、民間ニ於テモ頗ル困ヅテ居リマス、我ガ國ニ於ケル民事訴訟ノ發展シナイ所以ハ凡ソ訴訟ガ長ク掛カツテ費用ノ爲ニ權利ノ執行ト云フモノハ殆ど出來ナイ、サウ云フ狀態ニアル、加フルニ裁判官ノ能率ヲ増進スル所以デナイ、其ノ點ガ法文ニ現レテ居ラヌヤウニ思フ、殊ニ

禦ノ期間ヲ定メ、ソレニ依ツテ攻撃防禦ガ出来ナイヤウニスルノハ消極的ノ規定デ、モツト事實ノ真相ヲ積極的ニスルヤウニ規定スル、一體民事訴訟ガ當時者ノ處分權ヲ土臺ニシテ居ルト云フコトヲ一ツ考ヘ直サナケレバナラヌデハナイカ、凡ソ裁判所ノ事務モ其ノ見地カラ出テ相當迄改メル、即チ正シイモノニ改メル、改ムベカラザルモノハ成ルベク控ヘ目ニスル、改メテ宜イモノハ控ヘ目ニスル必要ハナイ、大イニ進ンデ規定ヲシタ方ガ宜イ譯デ、ソコデは私ノ考トシテハ、諸般ノ事物ハ改革シナケレバナラヌト云ノデアルカラ、改革ニ必要ノアル限りシ私ノ考デ此ノ立法モシ又運營モシテ行ク、是ガ宜ノデアルト思フノデアリマスガ、午前ノ御説明ニ依レバ戰時立法アルカラ戰時ガ濟メバ是ハ止メテ元ヘ戻ルノダ、斯ウ云フ風ナ意味ノ御説明デアリマス、私ハ元ヘ戻ルト云フ考ヘ方ガドウカト思フノデアリマス、戻ルト云フノハ戰時ニ於ケル特殊ナモノダケ止メルノデアリマスケレドモ、宜イモノハ何モ戻ス必要ハナイ、戰時立法ニ依ツテ長期ノ戰爭が行ハレタナラバ良イコトヲ云フナラヌト云コトハ全ソ訴ヲ提起スル迄ハ民事ノコトダカラ裁判所ガ進ンデ云フ裁判形式ハ此ノ際考ヘ直サナケレバナラヌト思フ、サウスルトシテナラヌコトハ問題ニナリマセヌガ、當事者ガ之ヲドウカシテ貰ヒタイト云フ意味デ訴ヲ出シ、權利ガアルヤウニシテ貰ヒタイト云フモノハ其ノ儘進ンデ行ケバ宜カラウ、デスカラサウ云フ根本ノ考ヘ方ニ付テ午前ノ御説明デハ私ニハドウカト疑ガアリマスカラ、今一應御説明願ヒタイ、ソレカラ第二ニ、ノ憂ヘラレル通リデアリマス、民間ニ於テモ頗ル困ヅテ居リマス、我ガ國ニ於ケル民事訴訟ノ發展シナイ所以ハ凡ソ訴訟ガ長ク掛カツテ費用ノ爲ニ權利ノ執行ト云フモノハ殆ど出來ナイ、サウ云フ狀態ニアル、加フルニ裁判官ノ能率ヲ増進スル所以デナイ、其ノ點ガ法文ニ現レテ居ラヌヤウニ思フ、殊ニ

禦ノ期間ヲ定メ、ソレニ依ツテ攻撃防禦ガ出来ナイヤウニスルノハ消極的ノ規定デ、モツト事實ノ真相ヲ積極的ニスルヤウニ規定スル、一體民事訴訟ガ當時者ノ處分權ヲ土臺ニシテ居ルト云フコトヲ一ツ考ヘ直サナケレバナラヌデハナイカ、凡ソ裁判所ノ事務モ其ノ見地カラ出テ相當迄改メル、即チ正シイモノニ改メル、改ムベカラザルモノハ成ルベク控ヘ目ニスル、改メテ宜イモノハ控ヘ目ニスル必要ハナイ、大イニ進ンデ規定ヲシタ方ガ宜イ譯デ、ソコデは私ノ考トシテハ、諸般ノ事物ハ改革シナケレバナラヌト云ノデアルカラ、改革ニ必要ノアル限りシ私ノ考デ此ノ立法モシ又運營モシテ行ク、是ガ宜ノデアルト思フノデアリマスガ、午前ノ御説明ニ依レバ戰時立法アルカラ戰時ガ濟メバ是ハ止メテ元ヘ戻ルノダ、斯ウ云フ風ナ意味ノ御説明デアリマス、私ハ元ヘ戻ルト云フ考ヘ方ガドウカト思フノデアリマス、戻ルト云フノハ戰時ニ於ケル特殊ナモノダケ止メルノデアリマスケレドモ、宜イモノハ何モ戻ス必要ハナイ、戰時立法ニ依ツテ長期ノ戰爭が行ハレタナラバ良イコトヲ云フナラヌト云コトハ全ソ訴ヲ提起スル迄ハ民事ノコトダカラ裁判所ガ進ンデ云フ裁判形式ハ此ノ際考ヘ直サナケレバナラヌト思フ、サウスルトシテナラヌコトハ問題ニナリマセヌガ、當事者ガ之ヲドウカシテ貰ヒタイト云フ意味デ訴ヲ出シ、權利ガアルヤウニシテ貰ヒタイト云フモノハ其ノ儘進ンデ行ケバ宜カラウ、デスカラサウ云フ根本ノ考ヘ方ニ付テ午前ノ御説明デハ私ニハドウカト疑ガアリマスカラ、今一應御説明願ヒタイ、ソレカラ第二ニ、ノ憂ヘラレル通リデアリマス、民間ニ於テモ頗ル困ヅテ居リマス、我ガ國ニ於ケル民事訴訟ノ發展シナイ所以ハ凡ソ訴訟ガ長ク掛カツテ費用ノ爲ニ權利ノ執行ト云フモノハ殆ど出來ナイ、サウ云フ狀態ニアル、加フルニ裁判官ノ能率ヲ増進スル所以デナイ、其ノ點ガ法文ニ現レテ居ラヌヤウニ思フ、殊ニ

禦ノ期間ヲ定メ、ソレニ依ツテ攻撃防禦ガ出来ナイヤウニスルノハ消極的ノ規定デ、モツト事實ノ真相ヲ積極的ニスルヤウニ規定スル、一體民事訴訟ガ當時者ノ處分權ヲ土臺ニシテ居ルト云フコトヲ一ツ考ヘ直サナケレバナラヌデハナイカ、凡ソ裁判所ノ事務モ其ノ見地カラ出テ相當迄改メル、即チ正シイモノニ改メル、改ムベカラザルモノハ成ルベク控ヘ目ニスル、改メテ宜イモノハ控ヘ目ニスル必要ハナイ、大イニ進ンデ規定ヲシタ方ガ宜イ譯デ、ソコデは私ノ考トシテハ、諸般ノ事物ハ改革シナケレバナラヌト云ノデアルカラ、改革ニ必要ノアル限りシ私ノ考デ此ノ立法モシ又運營モシテ行ク、是ガ宜ノデアルト思フノデアリマスガ、午前ノ御説明ニ依レバ戰時立法アルカラ戰時ガ濟メバ是ハ止メテ元ヘ戻ルノダ、斯ウ云フ風ナ意味ノ御説明デアリマス、私ハ元ヘ戻ルト云フ考ヘ方ガドウカト思フノデアリマス、戻ルト云フノハ戰時ニ於ケル特殊ナモノダケ止メルノデアリマスケレドモ、宜イモノハ何モ戻ス必要ハナイ、戰時立法ニ依ツテ長期ノ戰爭が行ハレタナラバ良イコトヲ云フナラヌト云コトハ全ソ訴ヲ提起スル迄ハ民事ノコトダカラ裁判所ガ進ンデ云フ裁判形式ハ此ノ際考ヘ直サナケレバナラヌト思フ、サウスルトシテナラヌコトハ問題ニナリマセヌガ、當事者ガ之ヲドウカシテ貰ヒタイト云フ意味デ訴ヲ出シ、權利ガアルヤウニシテ貰ヒタイト云フモノハ其ノ儘進ンデ行ケバ宜カラウ、デスカラサウ云フ根本ノ考ヘ方ニ付テ午前ノ御説明デハ私ニハドウカト疑ガアリマスカラ、今一應御説明願ヒタイ、ソレカラ第二ニ、ノ憂ヘラレル通リデアリマス、民間ニ於テモ頗ル困ヅテ居リマス、我ガ國ニ於ケル民事訴訟ノ發展シナイ所以ハ凡ソ訴訟ガ長ク掛カツテ費用ノ爲ニ權利ノ執行ト云フモノハ殆ど出來ナイ、サウ云フ狀態ニアル、加フルニ裁判官ノ能率ヲ増進スル所以デナイ、其ノ點ガ法文ニ現レテ居ラヌヤウニ思フ、殊ニ





ヲ求ムル訴、請求異議ノ訴、假差押、假處分異議ノ訴ノ如キモノノ第一審ノ判決ニ對シテハ、控訴ヲ爲スコトヲ得ズ直チニ上告ヲ爲シ得ルモノト致シマシタ、前者ハ現在デモ特ニ迅速ナル審判ヲ要スルモノトシテ、訴訟物ノ價格一拘ラズ之ヲ區裁判所ノ管轄ニ屬セシムテ居ルモノデアリマスルシ、後者ハ債務名義ヲ有スル債權者ガ既ニ強制執行ニ著手シテ後ノ手續上ノ問題、假ノ權利保全處分等ニ關スル事項デアリマスノデ、何レモ戰時下特ニ迅速ナル處理ヲ爲スヲ相當ト考ヘマス、尤モ民事訴訟法第六編中ニハ、執行手續ニ關聯シテ生ジマスル配當加入者ノ債權ノ確定ノ訴及差押債權者カラ第三債務者ニ對スル取立ノ訴ニ付規定スル所ガアリマスガ、之ハ性質上通常ノ訴訟デアリマスカラ除外致シマシタ、次ニ刑事ニ付キマシテハ、戰時下ニ於ケル國內ノ治安ヲ確保シ、國防經濟ノ完遂ニ資シ、併セテ防諜ノ完璧ヲ期スル爲ニ、特ニ事件處理ノ迅速ヲ圖ラネバナラヌ種類ノ犯罪ヲ最小限度ニ取上げテ、之ニ關スル訴訟審ヲ省略スルコトニ致シマシタ、即チ刑法系統ノ犯罪中安寧秩序ニ對スル罪、一般ノ竊盜、強盜ノ罪、常習竊盜及強盜ノ罪等及戰時刑事特別法第一章各條ニ定ムル罪、例ヘバ戰時放火、戰時騷擾、戰時國政變亂等ノ如キモノ並ニ言論、出版、集會、結社等臨時取締法中ノ造言飛語等ノ罪ノ如キバ、戰時下ニ於ケル公共ノ安寧ヲ阻害スルコト甚シキモノガアリマスルシ、國家總動員法、昭和十二年法律第十九十二號輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律等ノ違反ノ罪ハ經濟統制ヲ牽り、國防經濟ノ完遂ニ著シキ支障ヲ來スモノデアリ、又軍機保護法、軍用資源秘密保護法

等ノ違反ノ罪ハ主トシテ軍機ノ保持防諜ノ立場カラ、訴訟審理途中ニ於テモ之ニ關シテ機密ノ漏洩ヲ極度ニ防止セネバナラヌノ訴訟物ヲ爲シ得ルモノトシタノデアリマスノデ、是等犯罪ニ關スル事件ノ上告ヲ爲シ得ルモノトシテハ、直接第一審判決ニ對シテハ、控訴ヲ許サズ直接上告ヲ爲シ得ルモノトシタノデアリマス、尤モ以上ノ犯罪中、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタルモノデ、現在國防保安法ニ規定シテアルモノニ付テハ、同法ガ現ニ二審制ヲ採用シテ居ル趣旨デゴザイマス、第二ハ第五條及第六條次第デアリマスノデ、總テ同法ヲ適用スル付テハ、同法ガ現ニ二審制ヲ採用シテ居ル且此ノ場合ニ於ケル法律解釋ノ統一ヲ圖ルニ規定スル所デ、現在上告ハ總テ大審院ノミガ其ノ裁判權ヲ有シテ居リマスガ、其ノ一部ヲ控訴院ノ管轄ト爲スノ特例ヲ設ケ、即チ前述ノ民事、刑事ニ付キ控訴審ヲ省略スルコトシタ事件中、第一審ヲ區裁判所所ニ規定スル所デ、現在上告ハ總テ大審院ノリマスガ、是ハ法定刑コソ重イノデアリマスケレドモ、罪質ハ竊盜ニ外ナラナイモノニ限り之ヲ區裁判所ノ管轄ニ屬セシモノデアリマスカラ、豫審ヲ經る必要ノナインコトハ既ニ申述ベタ通リデアリマス、斯ウ云フ意味デシ是等ノ事件ハ、前述ノ如ク戰時下特ニ處理ノ迅速ヲ圖ラネバナラヌモノデアリ、事院ニ管轄セシメムトスルノデアリマス、蓋案モ割合ニ複雜デナク、寧ロ輕微ナルモノガ多イノデアリマスカラ、當然豫想セラルシマシタノデアリマス、第四ハ第七條ニ規定スル點デアリマスガ、民事ニ付、訴訟事件以外ノ法定事件ノミニ付キマシテ、抗告裁判所ノ爲シタ裁判即チ決定ニ對シマシテハ、更ニ抗告ヲ爲シ得ザルコト爲サムトスルモノデアリマス、現在ハ法令ニ違背シタコトヲ理由トスル場合ニ限リ、大審院ニ再抗告ガ出來ルノデアリマスガ、實例ハ抗告裁判所ノ決定ガ取消サル、コトハ極メテ僅少デアリ、且手續上ノ問題ニ關スルモノモアリマスノデ、之ガ統一ヲ圖ル爲、控訴理セシムルノヲ相當トスル次第デアリマス、從ツテ之ガ爲、同一ノ法律點ニ付大審院及控訴院相互間ニ相抵觸スル判決ノ爲サレル處所デ、曾テ大審院ヤ上告裁判所タル控訴院ニ過ギナイノデアリマシテ、此ノ戰時交通ノ障害等ヲモ考慮ニ入レマシテ、成ルベク地元ニ近イ控訴院ニ於テ上告審ヲ處理セシムルノヲ相當トスル次第デアリマス、

○委員長(伯爵二荒芳徳君) ソレデハ政府委員  
○政府委員(大森洪太君) 御指圖ニ依リマシテ簡單ニ逐條ノ説明ヲ補足シテ置キタイト存ズルノデアリマス、第一條ハ申上ゲル迄モナク戰時ニ於ケル特例ダト云フコトヲ現シタニ過ギナイノデアリマシテ、此ノ戰時タルヤ大東亞戰爭ノ戰時、斯ウ云フ意味デアルコトハ既ニ申述ベタ通リデアリマス、第二條ハ區裁判所ノ事物ノ管轄ヲ擴張シタ問題デアリマシテ、戰時刑事特別法第五條第一項ト申シマスノハ、戰時ノ暗ガリニ乘ジマスル竊盜デアリマス、此ノ間ノ臨時議會ニ於テ御協賛ヲ經マシテ、既ニ實施ニナッテ居リマスルアノ法律ノ中ノ竊盜ノ部分、ソレト全ク同ジモノデアリマス、今度ノ戰時刑事特別法案ニ於キマシテハ、アノ法律機能ノ發揚ト云フ點ヲモ考慮シタ次第デゴザイマス、以上ガ本法案ノ大體ノ内容デアリマスガ、本法ハ施行前ニ裁判所ガ受理致シマシタ訴訟ニ付テハ適用致シマセヌ、又昭和十六年法律第九十八號(戰時犯罪處罰法)ハ、戰時刑事特別法ノ規定ニ依リマスト、短期

ノ施行ト共ニ廢止サレマスガ、全ク同ジ規定ガ戰時刑事特別法中ニ設ケラレマスノデ、同法廢止前ニ犯シタ同法ノ罪ニ關スル事件デ、本法施行後公訴ヲ提起スルモノニ付テモ、本法中必要ナル規定ヲ適用スルコトトシ、其ノ規定ヲ附則第三項ニ設ケマシタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ程ヲ御願ヒ致シマス、條文ハ少ウゴザイマスガ、次官ヨリ大體ノ御説明ヲ申上ゲタラドウカト思ヒマス。

○委員長(伯爵二荒芳徳君) ソレデハ政府委員

ノ裁別所構成法ノ規定ニ依リマスト、短期



盜ノ方ニ吸收スルコトハ不都合デアリマス  
ルカラ、勢ヒ別々ニセザルヲ得ナクナッタ  
モアリマス、手續上實際ニ於テ些少ノ錯雜  
ハ免レナイデアリマセウケレドモ、少クト  
モ或種ノ事件ニ限テ審級ヲ省略スルト云  
フコトニナリマスルト、斯様ナコトハ起ラ  
ザルヲ得ナイ已ムヲ得ザル結果デアラウカ  
ト存ズルノデアリマス、第五條ハ前二條ノ  
第一審ノ判決デアリマスルガ、是ハ御承知  
ノ通り地方裁判所ガ第一審ノ管轄ノコトモ  
アリマスルシ、區裁判所ガ管轄ノコトモア  
リマスルガ、其ノ中ニ區裁判所ガ第一審ト  
シテ致シマシタ判決ニ付テノ上告、是ハ控  
訴院ト云フコトニ改メタノデアリマス、其  
ノ理由ハ交通障碍等ヲ顧慮シタノデアリマ  
スルガ、少ク共此ノ部分ニ付テハ丁度大正  
二年、前ノ裁判所構成法ニ復歸スルヤウナ  
恰好ニナルノデアリマス、ソレカラ第二項  
デアリマスルガ、是ハ御承知ノ刑事訴訟法  
第四百二十條カラ來ルソレダケノ問題デア  
リマシテ、民事ニ付テ適用ノナイ規定デア  
リマス、御承知ノヤウニ刑事訴訟法第四百  
二十條ニ依リマシテ、第一審タル區裁判所  
ガ上告棄却ノ決定ヲスルコトガ出來ルコト  
ニナツテ居リマス、其ノ場合ニ此ノ第二項ノ  
特例ヲ設ケナイト致シマスナラバ、其ノ區  
裁判所ノ上告棄却ノ決定ニ對スル抗告ニ付  
キマシテハ、大審院ヘ行クコトニナラウカ  
ト思フノデアリマス、サウ致シマスルト第  
一項ト權衡ヲ失シマスカラシテ、斯様ナ第  
二項ニ掲ゲテ居リマスル上告棄却ノ決定ニ  
對スル抗告ハ、矢張リ控訴院ヘ行クノダト  
云フコトヲ此處デ明白ニ致シタ次第デアリ  
マス第三項ハ控訴院ガ上告審タル場合デア  
リマスルガ、其ノ上告審タル控訴院ガ或決定

ヲ致シタシマスルナラバ、其ノ決定ニ對  
シテ抗告ヲシマスルト大審院ヘ參リマスル  
カラ、本案ト其ノ決定ト審級ヲ異ニスルヤウ  
モコトニナリマスルト、斯様ナコトハ起ラ  
シタ次第デアリマス、末項ニ進用シテ居リ  
マスル裁判所構成法第四十八條ノ規定、是ハ  
第一審ノ判決デアリマスルガ、是ハ御承知  
ノ通り地方裁判所ガ第一審ノ管轄ノコトモ  
アリマスルシ、區裁判所ガ管轄ノコトモア  
リマスルガ、其ノ中ニ區裁判所ガ第一審ト  
シテ致シマシタ判決ニ付テノ上告、是ハ控  
訴院ト云フコトニ改メタノデアリマス、其  
ノ理由ハ交通障碍等ヲ顧慮シタノデアリマ  
スルガ、少ク共此ノ部分ニ付テハ丁度大正  
二年、前ノ裁判所構成法ニ復歸スルヤウナ  
恰好ニナルノデアリマス、ソレカラ第二項  
デアリマスルガ、是ハ御承知ノ刑事訴訟法  
第四百二十條カラ來ルソレダケノ問題デア  
リマシテ、民事ニ付テ適用ノナイ規定デア  
リマス、御承知ノヤウニ刑事訴訟法第四百  
二十條ニ依リマシテ、第一審タル區裁判所  
ガ上告棄却ノ決定ヲスルコトガ出來ルコト  
ニナツテ居リマス、其ノ場合ニ此ノ第二項ノ  
特例ヲ設ケナイト致シマスナラバ、其ノ區  
裁判所ノ上告棄却ノ決定ニ對スル抗告ニ付  
キマシテハ、大審院ヘ行クコトニナラウカ  
ト思フノデアリマス、サウ致シマスルト第  
一項ト權衡ヲ失シマスカラシテ、斯様ナ第  
二項ニ掲ゲテ居リマスル上告棄却ノ決定ニ  
對スル抗告ハ、矢張リ控訴院ヘ行クノダト  
云フコトヲ此處デ明白ニ致シタ次第デアリ  
マス第三項ハ控訴院ガ上告審タル場合デア  
リマスルガ、其ノ上告審タル控訴院ガ或決定

アリマス、二項ハ手續上是ハ當然ノ問題デ  
アラウト思ヒマス、第七條ハ御承知ノ民事  
ノ再抗告ノ問題デアリマス、是ハ勿論訴訟  
カラシテ、ソレデ是ハ其ノ事件ノ抗告ハ  
出来ナインダト云フコトヲ、此處ニ明カニ  
ニ對スル判決デハナク、唯決定ノ問題デア  
リマスガ、此ノ大審院ニ對スル再抗告ハ實  
出來ナインダト云フコトヲ、此處ニ明カニ  
シタ次第デアリマス、末項ニ進用シテ居リ  
マスル裁判所構成法第四十八條ノ規定、是ハ  
御承知ノ通り大審院ノ裁判ハ下級裁判所ヲ  
羈束スルト云フ有力ナ規定デアリマス、此  
ノ規定ヲ第一項ノ場合、即チ控訴院ガ上告  
審トシテ裁判ヲスルト云フ場合、之ニ持ッテ  
羈束スルト云フ有効ナ規定デアリマス、此  
トシテ致シマシタ判決ハ、是ハ矢張リ大審  
院ガ上告審トシテ爲シタル裁判ト同様ニ、  
下級裁判所ヲ羈束スルト云フコトヲ明カニ  
致シタノデアリマス、第六條ハ右申シマン  
タヤウニ、控訴院ガ上告審トシテ裁判ヲ爲  
シマス關係上、御承知ノ、今全國ニ控訴院  
ガ七ツアリマスカラ、恐ラクハ法律解釋ノ  
不統一ト云フ結果ヲ來スノ虞レガアルノデ  
アリマス、ソレヲ救濟スルガ爲ノ規定デア  
リマシテ、控訴院ガ上告審トシテ裁判ヲシ  
テ居リマス餘力ヲ本當ノ判決、生粹ノ裁  
判ノ方ニ傾注シタイ、斯様ナ趣旨カラ致シ  
マシテ第七條ヲ設ケタヤウナ次第デアリマ  
ス、附則ニ付キマシテハ既ニ司法大臣ヨリ  
一應ノ御説明ヲ致シマシタカラ、重ネテ逐  
條的御説明ヲ申上ガル必要ハナイカト存ズ  
ルノデアリマス

○委員長(伯爵二荒芳德君) 御質問ヲ御許  
シ致シマス、御質問ゴザイマセヌカ  
○山川端夫君 議事ノ進行デアリマスガ、  
本日ハ此ノ程度デ終リニシテ戴キタイ、モ  
ウ少シ能ク研究シテ見タイト思ヒマスカラ  
○次田大三郎君 岩村 通世君

| 政府委員  | 司法大臣  | 岩村 通世君   | 午後二時五十九分散會  |
|---|---|----------|---|
| 陸軍少將 田中 隆吉君   | 司法次官 大森 洪太君   | 男爵島津 忠彦君 | 出席者左ノ如シ   |
| 司法省民事局長 坂野 千里君  | 司法省刑事局長 池田 克君   | 子爵舟橋 清賢君 | 副委員長 男爵伊江 朝助君   |
| 司法省調査部長 齋藤 直一君  | 司法書記官 石田 壽君   | 宮城長五郎君   | 侯爵細川 護立君  |
| ○委員長(伯爵二荒芳德君) 山川委員ノ御<br>動議ニ御賛成ノ方ガゴザイマシタカラ、御<br>諸リ致シマスガ、ソレデハ今日ハ此ノ程度<br>ニ致シマシテ、明日午前十時カラ再開致シ<br>タイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ<br>〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕 | ○委員長(伯爵二荒芳德君) ソレデハ左様<br>釋ノ統一ヲ期スル、斯様ナ途ヲ拓イタノデ<br>大審院デ裁判ヲシテ貴フ、サウシテ法律解<br>釋ノ統一ヲ期スル、斯様ナ途ヲ拓イタノデ | 山川 端夫君   | アラウト思ヒマス、第七條ハ御承知ノ民事<br>ノ再抗告ノ問題デアリマス、是ハ勿論訴訟<br>カラシテ、ソレデ是ハ其ノ事件ノ抗告ハ<br>出来ナインダト云フコトヲ、此處ニ明カニ<br>ニ對スル判決デハナク、唯決定ノ問題デア<br>リマスガ、此ノ大審院ニ對スル再抗告ハ實<br>出來ナインダト云フコトヲ、此處ニ明カニ<br>シタ次第デアリマス、末項ニ進用シテ居リ<br>マスル裁判所構成法第四十八條ノ規定、是ハ<br>御承知ノ通り大審院ノ裁判ハ下級裁判所ヲ<br>羈束スルト云フ有効ナ規定デアリマス、此<br>ノ規定ヲ第一項ノ場合、即チ控訴院ガ上告<br>審トシテ裁判ヲスルト云フ場合、之ニ持ッテ<br>羈束スルト云フ有効ナ規定デアリマス、此<br>トシテ致シマシタ判決ハ、是ハ矢張リ大審<br>院ガ上告審トシテ爲シタル裁判ト同様ニ、<br>下級裁判所ヲ羈束スルト云フコトヲ明カニ<br>致シタノデアリマス、第六條ハ右申シマン<br>タヤウニ、控訴院ガ上告審トシテ裁判ヲ爲<br>シマス關係上、御承知ノ、今全國ニ控訴院<br>ガ七ツアリマスカラ、恐ラクハ法律解釋ノ<br>不統一ト云フ結果ヲ來スノ虞レガアルノデ<br>アリマス、ソレヲ救濟スルガ爲ノ規定デア<br>リマシテ、控訴院ガ上告審トシテ裁判ヲシ<br>テ居リマス餘力ヲ本當ノ判決、生粹ノ裁<br>判ノ方ニ傾注シタイ、斯様ナ趣旨カラ致シ<br>マシテ第七條ヲ設ケタヤウナ次第デアリマ<br>ス、附則ニ付キマシテハ既ニ司法大臣ヨリ<br>一應ノ御説明ヲ致シマシタカラ、重ネテ逐<br>條的御説明ヲ申上ガル必要ハナイカト存ズ<br>ルノデアリマス |

第四部第八類 戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和十七年一月二十六日

貴族院

一八

昭和十七年一月二十六日印刷

昭和十七年一月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者  
内閣印刷局